

PGマルチペイメントサービス

プロトコル・タイプ

(カード決済 インタフェース仕様)

2019年12月9日 1.37版

- ☑ 本書の著作権は「GMO ペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

目次

1. はじめに	9
1.1. 項目の説明	9
1.2. 開発するにあたっての注意事項	13
1.2.1. 取引について	13
1.2.2. 取引状態の遷移について	14
1.2.3. 当サービスのタイムアウトについて	15
1.2.4. カード登録連番の概念について	15
1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について	17
2. インタフェース仕様	18
2.1. カード番号を入力して決済する<本人認証サービスを未使用>	18
2.1.1. カード番号決済の流れ	18
2.1.2. 各インタフェース仕様詳細	19
2.2. カード番号を入力して決済する<本人認証サービスを使用>	25
2.2.1. 本人認証サービス使用型カード番号決済の流れ	25
2.2.2. 各インタフェース仕様詳細	27
2.3. 会員情報を登録する	33
2.3.1. 会員登録の流れ	33
2.3.2. 各インタフェース仕様詳細	34
2.4. 会員情報を更新する	35
2.4.1. 会員更新の流れ	35
2.4.2. 各インタフェース仕様詳細	36
2.5. 会員情報の削除をする	37
2.5.1. 会員削除の流れ	37
2.5.2. 各インタフェース仕様詳細	38
2.6. 会員情報を参照する	39
2.6.1. 会員参照の流れ	39
2.6.2. 各インタフェース仕様詳細	40
2.7. カード情報を登録または更新する	41
2.7.1. カード登録の流れ	42
2.7.2. 各インタフェース仕様詳細	43
2.8. カード情報の削除をする	46
2.8.1. カード削除の流れ	46
2.8.2. 各インタフェース仕様詳細	47
2.9. カード情報を参照する	48
2.9.1. カード参照の流れ	48
2.9.2. 各インタフェース仕様詳細	49
2.10. 登録したカード情報で決済する<本人認証サービスを未使用>	51
2.10.1. 会員 ID 決済の流れ	51
2.10.2. 各インタフェース仕様詳細	52
2.11. 登録したカード情報で決済する<本人認証サービスを使用>	55

2.11.1.	カード番号を選択し、本人認証を行って決済する場合の流れ.....	55
2.11.2.	各インタフェース仕様詳細.....	57
2.12.	決済の内容を取り消す.....	61
2.12.1.	決済内容を取り消す流れ.....	61
2.12.2.	各インタフェース仕様詳細.....	62
2.13.	取り消した決済に再度オーソリを行う.....	64
2.13.1.	再オーソリを行う流れ.....	64
2.13.2.	各インタフェース仕様詳細.....	65
2.14.	売上の確定を行う.....	66
2.14.1.	実売上を行う流れ.....	66
2.14.2.	各インタフェース仕様詳細.....	67
2.15.	完了した決済に金額の変更を行う.....	68
2.15.1.	金額変更を行う流れ.....	68
2.15.2.	各インタフェース仕様詳細.....	69
2.16.	決済結果を参照する.....	70
2.16.1.	取引状態参照の流れ.....	70
2.16.2.	各インタフェース仕様詳細.....	71
2.17.	カード番号決済に使用したカード番号を登録する.....	73
2.17.1.	決済に使用したカード番号登録の流れ.....	73
2.17.2.	各インタフェース仕様詳細.....	74
2.18.	取引状態の参照または決済結果の通知を受信する.....	76
2.19.	クレジットカードの属性情報を取得する.....	76
2.19.1.	カード属性照会の流れ.....	76
2.19.2.	各インタフェース仕様詳細.....	77

変更履歴

2008 年 9 月 1 日- 1.00 版

- ・ 新規作成

2008 年 10 月 9 日- 1.01 版

- ・ 取引状況参照および結果通知受信の説明について「マルチ決済インタフェース仕様」参照の旨を追加

2009 年 5 月 11 日 - 1.02 版

- ・ 2.12. “決済の内容を取り消す”の文言を訂正

2009 年 6 月 9 日- 1.03 版

- ・ 取引状態遷移表に金額変更を追加
- ・ 利用金額の桁数誤記のため訂正
訂正前：8 桁
訂正後：7 桁
- ・ 会員削除、会員参照の記述を訂正

2009 年 7 月 28 日- 1.04 版

- ・ 金額変更の入力パラメータに VerSion を追加
- ・ 会員名の桁数誤記のため訂正
訂正前：50 桁
訂正後：255 桁

2009 年 9 月 1 日- 1.05 版

- ・ 本人認証サービス表示用店舗名/3D セキュア表示店舗名の説明内容を訂正
- ・ 取引状態参照の出力パラメータにエラーコード、エラー詳細コードを追加
- ・ オーダーID の説明に、メールリンクと他の接続方式を併用する場合の注意点を記載

2010 年 5 月 11 日- 1.06 版

- ・ 決済要求パラメータに暗証番号を追加

2010 年 8 月 11 日- 1.07 版

- ・ 会員 ID 決済においてセキュリティーコードが利用可能なことを明記

2010 年 10 月 4 日- 1.08 版

- ・ 会員 ID 決済において物理モードの場合に削除カードでの決済が可能なことを明記

2011 年 4 月 8 日- 1.09 版

- ・ 金額変更エラー時の挙動について追記

2011 年 11 月 29 日- 1.10 版

- ・ 認証後決済実行 PaRes の説明に注記を追加

2012 年 11 月 15 日- 1.11 版

- Mobile Edy から楽天 Edy に表記を変更
- 2.6.2.1.会員参照 出力パラメータ DeleteFlag(削除フラグ)の説明を修正
- SearchCard の送信パラメータにおいて SeqMode を必須パラメータとするよう修正

2013 年 07 月 21 日- 1.12 版

- 販売上に対して、月跨り返品が可能なような記載があったために修正

2014 年 03 月 18 日- 1.13 版

- カード登録時に CardPass をセットした場合、その会員 ID を利用しての決済については、必須項目となる点を明記

2015 年 04 月 01 日- 1.14 版

- ExecTran インタフェースに、トークン項目を追加

2016 年 08 月 20 日- 1.15 版

- 「2.7.2.1.カード登録／更新」入力パラメータに 13.Token を追加

2016 年 10 月 20 日- 1.16 版

- 「2.7.2.1.カード登録／更新」出力パラメータにカード属性照会 API パラメータの説明を追加
- 「2.9.2.1.カード参照」出力パラメータにカード属性照会 API パラメータの説明を追加
- 「2.19.クレジットカードの属性情報を取得する」を追加

2017 年 2 月 20 日- 1.17 版

- 「2.19.2.1.カード属性照会」出力パラメータに 8.ErrCode, 9.ErrInfo を追加

2017 年 3 月 21 日- 1.18 版

- 「2.16.2.1.取引状態参照」出力パラメータ「カード番号」の説明を修正。
- 「2.17.2.1.決済後カード登録」出力パラメータ「カード番号」の説明を修正。

2017 年 5 月 15 日- 1.19 版

- 「2.7.2.1.カード登録／更新」出力パラメータ「国内発行フラグ」の返却値に「2：不明」を追加
- 「2.9.2.1.カード参照」出力パラメータ「国内発行フラグ」の返却値に「2：不明」を追加
- 「2.19.1.カード属性照会」出力パラメータ「国内発行フラグ」の返却値に「2：不明」を追加

2017 年 7 月 18 日- 1.20 版

- 「2.19.2.1.カード属性照会」入力パラメータに「トークンを指定して呼び出す場合」を追加

2017 年 8 月 21 日- 1.21 版

- 「1.1.項目の説明」No.40「名義人」の許可文字種を変更
変更前：半角英数字 + 半角空白
変更後：半角英数字 + 半角空白 + 半角記号（コンマ、ハイフン、ピリオド、スラッシュ）

2017 年 10 月 16 日- 1.22 版

- 「2.7.2.1 カード登録/更新」の入力パラメータに「14.UpdateType」を追加

2017 年 12 月 11 日- 1.23 版

- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータに TokenType を追加
- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ Token の備考に Google Payment API に関する記載を追記
- ・ 「2.2.2.2. 決済実行」入力パラメータに TokenType を追加
- ・ 「2.2.2.2. 決済実行」入力パラメータ Token の備考に Google Payment API に関する記載を追記

2018 年 1 月 15 日- 1.24 版

- ・ 「2.19.2.1.カード属性参照」入力パラメータに SearchType を追加
- ・ 「2.19.2.1.カード属性参照」出力パラメータに Info1～Info5 を追加

2018 年 2 月 13 日- 1.25 版

- ・ ShopPass の桁数を 8、SitePass の桁数を 10 に変更
- ・ Google Payment API の記載を Google Pay API に変更
- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」に Google Pay API で取得した Payment token の指定方法 を追記
- ・ 「2.7.2.1.カード登録／更新」入力パラメータ HolderName の説明を追記

2018 年 6 月 18 日- 1.26 版

- ・ 「2.17.2.1. 決済後カード登録」入力パラメータに CardSeq を追加

2018 年 9 月 10 日- 1.27 版

- ・ 「2.17.2.1. 決済後カード登録」入力パラメータに CardName、CardPass を追加
- ・ カード番号取扱いの制限についての記述を追記

2018 年 11 月 12 日- 1.28 版

- ・ 「2.7.2.1. カード登録／更新」入力パラメータ「UpdateType」の説明を修正

2018 年 12 月 10 日- 1.29 版

- ・ 「2.2.2.2. 決済実行」出力パラメータに ErrCode、ErrInfo を追記

2019 年 2 月 12 日- 1.30 版

- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ「Token」の備考を修正
- ・ 「2.2.2.2. 決済実行」入力パラメータ「Token」の備考を修正

2019 年 4 月 15 日- 1.31 版

- ・ 「インターフェース」「インタフェース」等を全て「インターフェース」に統一
- ・ 「2.2.2.4. 認証後決済実行」入力パラメータと出力パラメータの※部分を修正
- ・ 「2.7.2.1. カード登録／更新」入力パラメータに項番 15. SecurityCode を追加
- ・ 「2.12. 決済の内容を取り消す」に処理区分 CANCEL の説明を追加
- ・ 「2.12.2.1. 決済変更」入力パラメータ「JobCd」に CANCEL を追加
- ・ 「2.16.2.1. 取引状態参照」入力パラメータに項番 5. UseSiteMaskLevel を追加し、出力パラメータ「CardNo」の説明を追加
- ・ 「2.17.2.1. 決済後カード登録」入力パラメータに項番 14. UseSiteMaskLevel を追加し、出力パラメータ「CardNo」の説明を追加

2019年7月16日- 1.32 版

- ・ 「2.9.2.1. カード参照」入力パラメータ「SeqMode」の必須項目を修正、説明に省略時の動作についてを追記
- ・ 「2.7.2.1. カード登録／更新」入力パラメータ「SecurityCode」の説明に記載の利用開始日を変更
- ・ 「2.12. 決済の内容を取り消す」処理区分 CANCEL の利用開始日を変更
- ・ 「2.12.2.1. 決済変更」入力パラメータ「JobCd」の説明に記載の CANCEL の利用開始日を変更
- ・ 「2.16.2.1. 取引状態参照」入力パラメータ「UseSiteMaskLevel」の説明に記載の利用開始日を変更
- ・ 「2.17.2.1. 決済後カード登録」入力パラメータ「UseSiteMaskLevel」の説明に記載の利用開始日を変更

2019年8月1日- 1.33 版

- ・ 「1.2.1. 取引について」 実売上可能期間を 90 日から 60 日に変更
- ・ 「2.14. 売上の確定を行う」 実売上可能期間を 90 日から 60 日に変更

2019年8月19日- 1.34 版

- ・ 「2.7.2.1. カード登録／更新」入力パラメータ「SecurityCode」の説明に記載の利用開始日を削除
- ・ 「2.12. 決済の内容を取り消す」処理区分 CANCEL の利用開始日を削除
- ・ 「2.12.2.1. 決済変更」入力パラメータ「JobCd」の説明に記載の CANCEL の利用開始日を削除
- ・ 「2.16.2.1. 取引状態参照」入力パラメータ「UseSiteMaskLevel」の説明に記載の利用開始日を削除
- ・ 「2.17.2.1. 決済後カード登録」入力パラメータ「UseSiteMaskLevel」の説明に記載の利用開始日を削除

2019年9月17日- 1.35 版

- ・ 「1.1. 項目の説明」No.30「承認番号」に文字種類の説明を追加
- ・ 「1.1. 項目の説明」No.42「可変マスク利用有無」を追加
- ・ 「2.9.2.1. カード参照」入力パラメータ「UseFloatingMask」を追加
- ・ 「2.16.2.1. 取引状態参照」入力パラメータ「UseFloatingMask」を追加
- ・ 「2.19.2.1. カード属性照会」入力パラメータ「UseFloatingMask」を追加

2019年10月15日- 1.36 版

- ・ 「1.1. 項目の説明」No.30「承認番号」の説明を追加

2019年12月9日- 1.37 版

- ・ 「2.2.2.2. 決済実行」入力パラメータ「HttpAccept」「HttpUserAgent」「DeviceCategory」を省略可能に変更
- ・ 「2.11.2.3. 決済実行」入力パラメータ「HttpAccept」「HttpUserAgent」「DeviceCategory」を省略可能に変更
- ・ 「2.19. クレジットカードの属性情報を取得する」カード登録連番モードを省略可能な内容に変更
- ・ 「2.19.2.1. カード属性照会」入力パラメータ「SeqMode」を省略可能に変更

1. はじめに

本書は、お客様が当サービスのカード決済開発を行う際に、円滑に進められるようにすることを目的にしています。
カード決済以外のコンビニ、楽天 Edy、モバイル Suica、Pay-easy につきましては、別紙「プロトコルタイプ(マルチ決済
インタフェース仕様)」を参照ください。

本書では、以下の表記を使用します。

『』：処理状態または処理区分

【】：インタフェース名

1.1. 項目の説明

ここでは、本書で使用している項目を説明します。

以下に、各インタフェースの入出力で使用している項目を説明します。

表 1.1-1 入出力項目の定義

No	項目	説明（設定値表記を含む）
1	ショップID	弊社が発行する加盟店様を識別するIDです。
2	ショップパスワード	ショップIDに対するパスワードです。
3	オーダーID	<p>加盟店様が取引を識別するために使用するIDです。一度使用した値を再度使用する事はできませんので、注文番号等の変更が出来ない値を直接設定するのはおやめください。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字と”-”(ハイフン)」です。</p> <p>また、メールリンク決済では、弊社側で「ML-ORDER」で開始するオーダーIDを自動生成します。メールリンクと他の接続方式を併用される場合、「ML-ORDER」で開始されるオーダーIDはご利用にならないようお願いします。</p>
4	処理区分	<p>取引に対して行う処理の区分です。</p> <p>インタフェースによって指定出来る処理区分は異なりますので、詳細は各インタフェースを参照ください。</p>
5	商品コード	<p>カード会社が規定している取引される商材を分類するコードです。</p> <p>カード会社との契約にて使用する商品コードが決まっている場合に設定します。</p> <p>弊社の包括契約の場合やカード会社との契約時に商品コードに関する内容がない場合は省略します。尚、省略時はその他("0000990")にて処理を行います。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字7桁」です。</p>
6	利用金額	<p>税送料を含まない金額です。</p> <p>決済を行う金額を1円以上で設定します。尚、0円やマイナス金額を設定した場合はエラーとなります。</p>

7	税送料	<p>送料等の実際の商品金額とは異なる金額です。</p> <p>税送料を設定した場合、決済金額は利用金額と税送料を合わせたものとなります。</p>
8	本人認証サービス 利用フラグ	<p>決済時に本人認証サービスを利用するかを指定するフラグです。</p> <p>取引ごとに利用可否を設定する事ができます。</p> <p>0：行わない(デフォルト)</p> <p>1：行う</p>
9	本人認証サービス 表示用店舗名	<p>本人認証サービスのパスワード入力画面に表示する店舗名です。日本語も8文字まで使用可能ですが、文字化けが起こりやすいので、可能でしたら英数半角に設定し、十分な検証を行うことを推奨します。</p> <p>また、対応している文字セットはEUC-JPとなりますのでご注意ください。</p>
10	取引ID	当サービスにて発行する取引を識別するためのユニークなIDです。
11	取引パスワード	識別する取引IDに対するパスワードです。
12	支払方法	<p>決済を行う支払方法です。カード会社との加盟店契約の内容によりエラーとなる場合もありますのでご注意ください。</p> <p>1：一括</p> <p>2：分割</p> <p>3：ボーナス一括</p> <p>4：ボーナス分割</p> <p>5：リボ</p>
13	支払回数	支払方法が分割の場合、支払う回数です。
14	サイトID	弊社が発行するサイトを識別するIDです。
15	サイトパスワード	弊社が発行するサイトを識別するIDに対するパスワードです。
16	会員ID	<p>加盟店様が会員を管理する為に発行するIDです。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(- @ _ .)」です。</p>
17	カード登録連番	<p>カード登録を行った時に、返却する数値です。</p> <p>内容は、モードによって異なります。</p> <p>詳細は、「カード登録連番の概念」を参照ください。</p>
18	カードパスワード	<p>カード登録時に指定出来るパスワードです。</p> <p>決済実行時に、指定する事で不正利用対策になります。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字」です。</p>
19	加盟店自由項目1～3	<p>加盟店様で自由に設定出来る項目です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照ください。</p>

20	加盟店自由項目 返却フラグ	設定された自由項目の値を決済完了時に返却するかを指定するフラグです。 0 : 返却しない(デフォルト) 1 : 返却する
21	HTTP_ACCEPT	クライアントが受け付けることができるMIMEタイプのリストです。 ブラウザより取得した値を使用してください。
22	HTTP_USER_AGENT	クライアントがリクエストを発行するときに使用するブラウザ名です。 ブラウザより取得した値を使用してください。
23	使用端末情報	お客様がどのような端末でアクセスしているかを表す値です。 設定値としては、携帯もありますがカード会社が携帯に対応していない為、現状はPC固定です。 0 : PC(デフォルト) 1 : 携帯(2008年9月現在 未対応)
24	本人認証パスワード 入力画面URL	本人認証サービスを利用した場合に本人認証パスワード入力画面へ遷移するためのURLです。
25	PaReq	本人認証サービスの要求データです。カード会社で暗号化されているために内容は不明ですので、受け取った値を本人認証サービスにそのままお渡しください。
26	TermUrl	本人認証パスワード入力画面でお客様がパスワードを入力後に戻る加盟店様のURLです。
27	MD	本人認証サービスを利用した場合に、加盟店様側のセッション管理に使用する値ですが、当サービスでは、取引IDを指定してください。
28	PaRes	本人認証サービスの結果です。カード会社で暗号化されているために内容は不明ですので、受け取った値を当サービスにそのままお渡しください。 当サービスにて、認証が成功したか否かの確認を行います。
29	仕向先カード会社コード	カード番号と加盟店様のカード会社契約状況から、データを送信した先のカード会社コードです。
30	承認番号	カード会社がオーソリ毎に発行する承認の番号です。ただし、有効性チェックや取消、返品、月跨り返品の場合には発行されない(=全てスペース文字、または空となる)場合があります。 承認番号は7桁以内の英数文字・スペース文字で構成されるか、空となります。 例) "1234567", " 123456"(先頭1文字スペース+6桁数値), " "(全てスペース文字), "ABCDEFG", ""(空)
31	トランザクションID	当サービスがオーソリ毎に発行する番号です。
32	決済日付	当サービスの決済を行った日時です。
33	会員名	加盟店様が会員を管理する為に発行する会員IDに紐付く名前です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照ください。

34	洗替・継続課金フラグ	登録したカードを洗替と継続課金の対象とするか判別するためのフラグです。1会員IDにつき1カード番号にしか設定できません。新たに登録するカード番号を対象とした場合は以前のフラグは「対象としない」に変更されます。 0：対象としない(デフォルト) 1：対象とする
35	カード会社略称	カード登録時に設定出来る値です。当サービスとしては使用しません。
36	カード番号	お客様が保持しているクレジットカードの番号です。
37	有効期限	お客様が保持しているクレジットカードの有効期限です。 書式は、「YYMM」形式です。
38	セキュリティコード	お客様が保持しているクレジットカードの裏面にある3桁もしくは4桁の数字 設定可能な文字は「 半角数字 」です。
39	暗証番号	お客様が保持しているクレジットカードの暗証番号です。 本人認証サービスとの併用はできません。 一般的なECサイトでは利用しません。ご利用をご検討の場合は、弊社営業までご相談ください。
40	名義人	お客様が保持しているクレジットカードの名義人です。 設定可能な文字は「 半角英数字 + 半角空白 + 半角記号（コンマ、ハイフン、ピリオド、スラッシュ） 」です。
41	現状態	取引の現在状態です。
42	可変マスク利用有無	出力パラメータのカード番号へのマスク位置を可変にします。 0：可変マスクを利用しない(デフォルト) 1：可変マスクを利用する 例) カード番号マスクレベルが「999999*****9999」の場合 └可変マスクを利用しない(デフォルト) 3050*****0001 (ダイナース) 37770*****0001 (Amex) 411111*****1111 (Visa) └可変マスクを利用する 305000****0001 (ダイナース) 377700*****0001 (Amex) 411111*****1111 (Visa)

1.2. 開発するにあたっての注意事項

ここでは、プロトコル・タイプで開発する際の注意事項を説明します。

1.2.1. 取引について

以下に、取引内容についての注意事項を説明します。

取引の削除

当サービスは、取引の削除はできません。結果にエラーがあった場合も例外ではありませんのでご注意ください。

そのため、オーダーID に注文書番号等の変更が出来ない番号は使用しないでください。どうしても使用しなくてはいけない場合は、注文番号+連番のような発番ルールを推奨します。

仮売上後の実売上

仮売上のオーソリ実施後 60 日を超えて実売上を行うとエラーとなります。運用上 60 日を超える事が想定される場合は、仮売上の返品を実施後に再度オーソリを行う必要があります。これを行っていない場合にはエラーとなります。

また、長期にわたる場合は再オーソリ時に、カードの状況によっては有効期限エラーまたは限度額オーバー等のエラーとなる場合があります。（詳細な理由に関してはお客様の個人情報にも関わるため、お客様（カード会員）からカード券面に記載のカード発行会社へお問い合わせください。）

一部返品

当サービスは、必ず仮売上と実売上もしくは実売上と取消(または返品、月跨り返品)の金額が一致していなければいけません。このような一部返品の実施を行う場合には、一度取消(または返品、月跨り返品)を実施後に新しい金額にて再オーソリを実施してください。尚、再オーソリ時にカードの状況によっては有効期限エラーまたは限度額オーバー等エラーとなる場合があります。（詳細な理由に関してはお客様の個人情報にも関わるため、お客様ご自身からカード券面に記載のカード発行会社へお問い合わせください。）

1.2.2. 取引状態の遷移について

以下に、各取引状態から行える処理の一覧を説明します。

表 1.2.2-1 取引状態遷移表

状態 \ 操作	仮売上	実売上	即時売上	取消・返品	月跨り返品	簡易 オーソリ	有効性 チェック	金額変更
未決済	○	×	○	×	×	○	○	×
仮売上済み	×	○	×	○	×	×	×	○
実売上済み	×	×	×	○	○	×	×	○
即時売上済み	×	×	×	○	○	×	×	○
取消・返品済み	○	×	○	×	×	○	×	×
月跨り返品済み	○	×	○	×	×	○	×	×
簡易オーソリ済み	×	×	×	○	×	×	×	○
有効性チェック済み	×	×	×	×	×	×	×	×

<上記表の見方>

未決済状態の取引は『仮売上』・『即時売上』・『簡易オーソリ』・『有効性チェック』が実施可能。

1.2.3. 当サービスのタイムアウトについて

当サービスが、外部システムとの通信を行う際に使用するタイムアウトについて説明します。

カード会社と接続する場合

【決済実行】・【認証後決済実行】・【決済変更】・【カード登録】の各処理時にカード会社と通信を行っています。処理の遅延を考慮して、当サービスでは60秒でタイムアウトが発生します。加盟店様では、60秒+ α の値を当サービスとのタイムアウト値として設定してください。推奨する値は**90秒程度**です。

本人認証サービスと接続する場合

【決済実行】・【認証後決済実行】の各処理時に本人認証サービスと通信を行っています。処理の遅延を考慮して、当サービスでは30秒でタイムアウトが発生します。加盟店様では、30秒+ α の値を当サービスとのタイムアウト値として設定してください。推奨する値は、カード会社との通信を考慮した**120秒程度**です。

1.2.4. カード登録連番の概念について

当サービスは、各会員に対してカードを登録する際にカード登録連番を発行します。カード登録連番は以下の2パターンです。

論理モード

このモードは、有効なカード情報のみを対象としてカード登録連番を採番しなおして返します。

加盟店様がカード情報照会を呼び出すと、当サービスは保持している情報で有効なカード情報を取得し、論理番号を採番し返します。

このモードは必ず1枚しか登録しない加盟店様向けのモードです。論理モードで1枚しか登録しない場合は、決済時のカード登録連番は"0"固定で処理が可能です。

論理モードを使用した場合には、必ず0~4の数値が返ります。

例として、カード情報を参照した場合のイメージは下図のようになります。

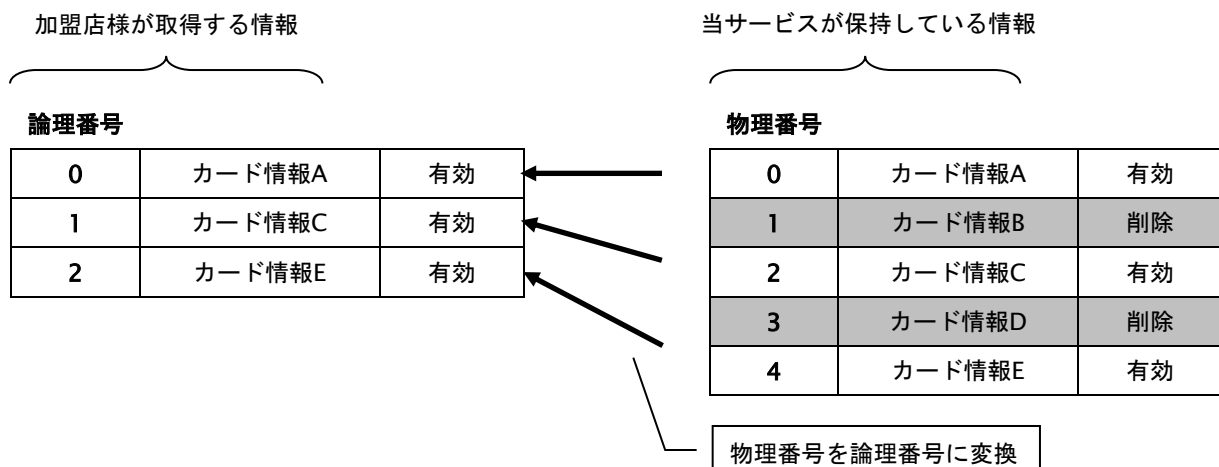


図 1.2.4-1 カード情報照会にて取得されるカード登録連番の値

物理モード

このモードは、当サービス内部で保持しているカード登録連番をそのまま返します。

以下のような情報が取得したい場合には、物理モードをご使用ください。

- ・ 過去に行った決済に利用したカード情報を再利用する場合
- ・ 加盟店様側でカード情報に 1 対 1 で紐付ける情報が存在する場合

上記のような内容を処理するためには、過去に行った決済で指定されたカード情報が必要ですが、論理モードでは削除されたり変更されたりしてしまい、決済時に使用したカード情報は特定困難です。ですが、物理モードでは削除されたカード情報も返却するため決済時のカード情報が特定可能です。

物理モードを使用した場合には、最大 4 桁（9999）が返ります。

例として、カード情報を参照した場合のイメージは下図のようになります。

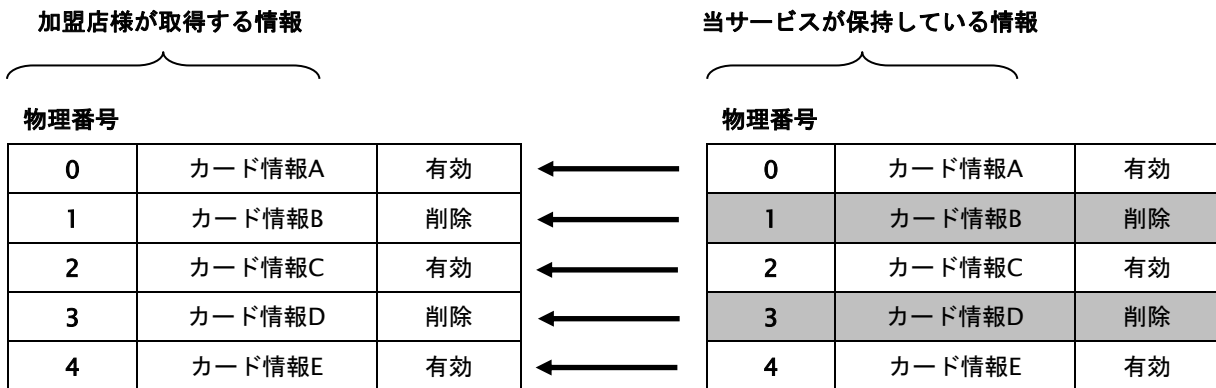


図 1.2.4-2 カード情報照会にて取得されるカード登録連番の値

注意

- ・ 過去に行った決済時のカード情報を完全に保持している事を保障している訳ではありません。
- ・ 決済完了後にカード情報を更新した場合は、決済時のカード情報は取得出来なくなります。

1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について

各APIの入力パラメータのカード番号(CardNo)は、カード番号の取扱いが許可された加盟店様の場合のみ指定可能です。

カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、入力パラメータのカード番号(CardNo)を指定してAPIを呼び出すとエラーコード“E61040001”が返却されます。(カード番号の代わりにトークンを指定してAPIを呼び出してください)

また、各APIの出力パラメータのカード番号(CardNo)は、設定により任意のマスク形式で返却可能ですが、カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、最大で先頭6桁末尾4桁以外をマスクした形式で返却されます。

2. インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細について説明します。各インタフェースの呼び出しは HTTPS 通信にて行う必要があります。

2.1. カード番号を入力して決済する<本人認証サービスを未使用>

購入時にお客様がカード番号を入力してから決済します。ここでは決済時に本人認証サービスを使用しない決済について説明します。

2.1.1. カード番号決済の流れ

以下に、本人認証サービスを使用しないカード番号決済の流れを説明します。

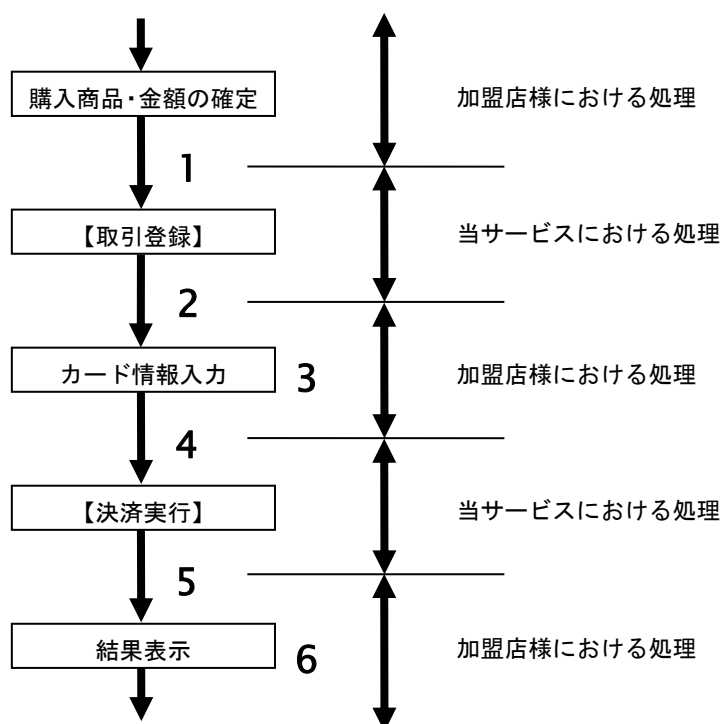


図 2.1.1-1 カード番号決済<本人認証サービス未使用>の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様にカード情報を入力する画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたカード情報をもって当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、カード情報を使用してカード会社との通信を行い、決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.1.2. 各インタフェース仕様詳細

2.1.2.1. 取引登録

接続先 URL

/payment/EntryTran.idPass

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
5	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	以下のいずれかを設定します。 CHECK：有効性チェック CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上 SAUTH：簡易オーソリ
6	ItemCode		CHAR	7	商品コード	省略時は、"0000990"を適用します。 ※1
7	Amount	●	NUMBER	7	利用金額	処理区分が『有効性チェック』を除き必須です。
8	Tax		NUMBER	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額です。
9	TdFlag		CHAR	1	本人認証サービス 利用フラグ	本人認証サービスを使用して決済を行うかを設定します。 0：行わない(デフォルト) 1：行う
10	TdTenantName		CHAR	25	3Dセキュア表示店舗名	表示店舗名をEUC-JPでBASE64エンコーディングした値を設定してください。 ※2 設定値は25Byte以内である必要があります。 省略時は、店舗名が「未指定」となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：通常は省略してください。カード会社との間の契約で使用する商品コードが決められた場合のみ設定してください。

※2：日本語も使用可能ですが、文字化けが起こりやすいので使用する場合は十分な検証を実施してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.1.2.2. 決済実行

接続先 URL

/payment/ExecTran.idPass

インタフェース概要

お客様が入力したカード番号と有効期限の情報でカード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
5	Method	●	CHAR	1	支払方法	以下のいずれかを設定します。 1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ ※処理区分が『有効性チェック』を除き、必須です。
6	PayTimes	●	NUMBER	2	支払回数	※支払方法が『分割』もしくは『ボーナス分割』は必須となります。
7	CardNo	●	CHAR	16	カード番号	決済に使用するクレジットカードの番号を設定します。トークン(No.10)または当パラメータいずれか必須です。 ※カード番号の取扱いが許可された加盟店様のみ設定可能です。 詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
8	Expire	●	CHAR	4	有効期限	決済に使用するクレジットカードの有効期限を設定します。(YYMM形式) カード番号(No.7)を指定した場合必須です。
9	SecurityCode		CHAR	4	セキュリティコード	カードの裏面(あるいは表面)に記載されている3桁もしくは4桁の数字を設定します。

10	Token	●	CHAR	-	カード情報トークン	<p>カード情報トークンを設定します。設定できるトークンは以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カード情報トークン化サービスで取得したトークン 半角英数 64 文字。 (※セキュリティ強度の見直しにより変更される可能性があります) ・ Google Pay APIで取得したPayment token Payment tokenをBASE64エンコードして設定してください。 <p>※トークンを設定する場合は、トークンタイプを合わせて設定してください。</p> <p>■カード番号の取扱いが許可された加盟店様 トークンとカード番号・有効期限・セキュリティコードを併せて指定された場合は、トークンが優先的に利用されます。</p> <p>■カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様 トークンとカード番号を両方指定された場合は、E61040001エラーが発生します。 ※詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。</p>
11	PIN	●	CHAR	4	暗証番号	<p>決済に使用するクレジットカードの暗証番号を設定します。 ※ご契約時に暗証番号利用を設定された加盟店様のみご利用可能です。</p>
12	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
13	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
14	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
15	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目 返却フラグ	<p>以下のいずれかを設定します。 0：返却しない(デフォルト) 1：返却する</p>
16	TokenType		CHAR	1	トークンタイプ	<p>「カード情報トークン」のタイプです。 「カード情報トークン」を利用する場合に設定します。</p> <p>1：カード情報トークン化サービスで取得したトークン（デフォルト） 2：Google Pay APIで取得したPayment token</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ACS	-	CHAR	1	ACS呼出判定	0 : ACS呼出不要
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼出時に指定した値を返却します。
3	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	与信を行ったカード会社の会社コードを返却します。
4	Method	-	CHAR	1	支払方法	お客様が入力もしくは選択した支払方法を返却します。
5	PayTimes	-	CHAR	2	支払回数	お客様が入力もしくは選択した支払回数を返却します。
6	Approve	-	CHAR	7	承認番号	カード会社が発行した与信の承認番号を返却します。
7	TranID	-	CHAR	28	トランザクションID	弊社が処理を行う毎に発行している処理番号を返却します。
8	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	与信を実施した日時を返却します。 (yyyyMMddHHmmss形式)
9	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID～TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(※1)を返却します。
10	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグの値が"1"(返却する)の場合のみ返却します。
11	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
12	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 出力内容の OrderID～TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.2. カード番号を入力して決済する<本人認証サービスを使用>

購入時にお客様がカード番号を入力して決済をします。ここでは決済時に本人認証サービスを使用した決済について説明します。

2.2.1. 本人認証サービス使用型カード番号決済の流れ

以下に、本人認証サービスを使用するカード番号決済の流れを説明します。

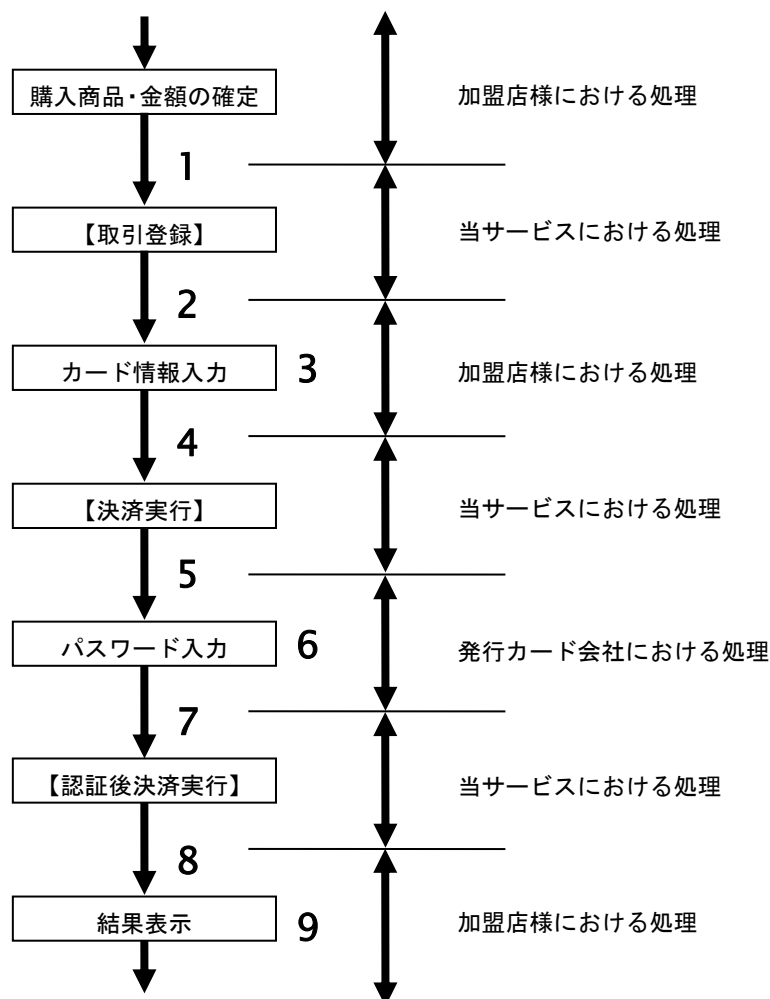


図 2.2.1-1 本人認証サービス使用型カード番号決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、お客様にカード情報を入力する画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたカード情報をもって当サービスの【決済実行】を呼び出します。
5. 当サービスは、カード情報を使用して本人認証サービスとの通信を行い本人認証可能なカード情報が否かを判定し本人認証パスワード入力画面 URL を返します。
カード情報が本人認証サービス不可であった場合は、カード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。
6. 加盟店様は、当サービスより返された本人認証パスワード入力画面 URL を呼び出します。
7. 加盟店様は、本人認証サービスより返された値をもって当サービスの【認証後決済実行】を呼び出します。
8. 当サービスは、本人認証サービスより戻された値を解析し、その情報を使用してカード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します。
9. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.2.2. 各インタフェース仕様詳細

2.2.2.1. 取引登録

「2.1.2.1 取引登録」の内容を参照ください。

2.2.2.2. 決済実行

接続先 URL

/payment/ExecTran.idPass

インタフェース概要

お客様が入力したカード番号と有効期限の情報でカード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。カード情報が本人認証サービスに対応していない場合は、カード会社との通信を行い決済を実行します。その際の出力パラメータは「2.1.2.2 決済実行」の出力パラメータと同じになります。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
5	Method	●	CHAR	1	支払方法	以下のいずれかを設定します。 1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ ※処理区分が『有効性チェック』を除き、必須です。
6	PayTimes	●	NUMBER	2	支払回数	※支払方法が『分割』もしくは『ボーナス分割』は必須です。
7	CardNo	●	CHAR	16	カード番号	決済に使用するクレジットカードの番号を設定します。トークン(No.10)またはカード番号のいずれか必須です。 ※カード番号の取扱いが許可された加盟店様のみ設定可能です。 詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
8	Expire	●	CHAR	4	有効期限	決済に使用するクレジットカードの有効期限を設定します。(YYMM形式) カード番号(No.7)を指定した場合必須です。
9	SecurityCode		CHAR	4	セキュリティーコード	カードの裏面(あるいは表面)に記載されている3桁もしくは4桁の数字を設定します。

10	Token	●	CHAR	-	トークン	<p>カード情報トークンを設定します。設定できるトークンは以下となります。</p> <p>・カード情報トークン化サービスで取得したトークン 半角英数 64 文字。 (※セキュリティ強度の見直しにより変更される可能性があります。)</p> <p>※トークンを設定する場合は、トークンタイプを合わせて設定してください。</p> <p>■カード番号の取扱いが許可された加盟店様 トークンとカード番号・有効期限・セキュリティコードを併せて指定された場合は、トークンが優先的に利用されます。</p> <p>■カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様 トークンとカード番号を両方指定された場合は、E61040001エラーが発生します。 ※詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。</p>
11	HttpAccept			-	HTTP_ACCEPT	お客様のブラウザより情報を取得し設定します。
12	HttpUserAgent			-	HTTP_USER_AGENT	お客様のブラウザより情報を取得し設定します。
13	DeviceCategory			1	使用端末情報	以下のいずれかを設定します。 0 : PC 1 : 携帯装置(2008年9月現在 未対応)
14	ClientField1			100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
15	ClientField2			100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
16	ClientField3			100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
17	ClientFieldFlag			1	加盟店自由項目 返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0 : 返却しない(デフォルト) 1 : 返却する
18	TokenType		CHAR	1	トークンタイプ	<p>「カード情報トークン」のタイプです。 「カード情報トークン」を利用する場合に設定します。</p> <p>1 : カード情報トークン化サービスで取得したトークン (デフォルト)</p>

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ACS	-	CHAR	1	ACS呼出判定	1 : ACS呼出要
2	ACSUrl	-	CHAR	-	本人認証パスワード入力画面URL	本人認証パスワード入力画面のURLを返却します。
3	PaReq	-	CHAR	-	本人認証要求電文	カード会社で暗号化された値を返却します。
4	MD	-	CHAR	32	取引ID	セッション管理に使用するための値を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.2.2.3. カード会社のパスワード入力画面を呼び出す

インタフェース概要

本人認証サービスを呼び出す際のパラメータと本人認証サービスから返却されるパラメータについて説明します。この部分は当サービスではなく、お客様と本人認証サービスのやりとりですので、加盟店様は当サービスより返却した本人認証パスワード入力画面を呼び出してください。

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

本人認証パスワード入力画面用リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒本人認証サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ACSUrl	◎	CHAR	-	本人認証パスワード入力画面URL	【決済実行】で返却された値を設定します。
2	PaReq	◎	CHAR	-	本人認証サービス要求電文	【決済実行】で返却された値を設定します。
3	TermUrl	◎	CHAR	-	結果受取用URL	本人認証パスワード入力終了した際に遷移する加盟店様のURLを設定します。
4	MD	◎	CHAR	32	取引ID	【決済実行】で返却された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="ACSCall" action="{ACSUrl}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          3-D セキュア認証を続けます。<br>
          ボタンをクリックしてください。
        </h2>
        <input type="submit" value="OK">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="PaReq" value="{PaReq}">
    <input type="hidden" name="TermUrl" value="{TermUrl}">
    <input type="hidden" name="MD" value="{MD}">
  </form>
  <script>
    <!--
      function OnLoadEvent() {
        document.ACSCall.submit();
      }
    //-->
  </script>
</body>
</html>

```

本人認証パスワード入力画面の返却パラメータ(本人認証サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	PaRes	-	CHAR	-	本人認証サービス 結果電文	カード会社で暗号化された値を返却します。
2	MD	-	CHAR	32	取引ID	セッション管理に使用します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

2.2.2.4. 認証後決済実行

接続先 URL

/payment/SecureTran.idPass

インタフェース概要

本人認証サービスの結果を解析し、その情報を使用してカード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	PaRes	◎	CHAR	-	本人認証サービス結果	本人認証パスワード入力画面より返却された値を設定します。(※1)
3	MD	◎	CHAR	32	取引ID	本人認証パスワード入力画面より返却された値を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: URL エンコードされた文字列を設定してください

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼出時に指定した値を返却します。
2	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	与信を行ったカード会社の会社コードを返却します。
3	Method	-	CHAR	1	支払方法	お客様が入力もしくは選択した支払方法を返却します。
4	PayTimes	-	CHAR	2	支払回数	お客様が入力もしくは選択した支払回数を返却します。
5	Approve	-	CHAR	7	承認番号	カード会社が発行した与信の承認番号を返却します。
6	TranID	-	CHAR	28	トランザクションID	弊社が処理を行う毎に発行している処理番号を返却します。
7	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	与信を実施した日付を返却します。 (yyyyMMddHHmmss形式)
8	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID～TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(※1)を返却します。
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグの値が"1"(返却する)の場合のみ返却します。
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
12	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。
13	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 出力内容の OrderID～TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.3. 会員情報を登録する

カード情報を紐付ける会員の情報をサイトに登録します。これにより、カード情報の保持が可能です。

2.3.1. 会員登録の流れ

以下に、会員情報を登録する流れを説明します。

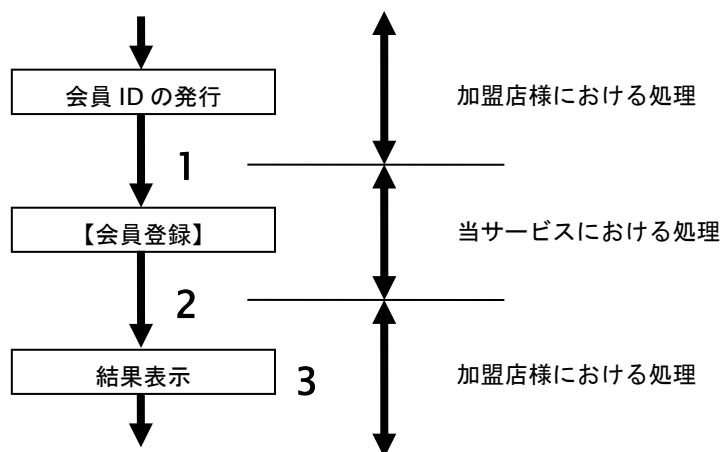


図 2.3.1-1 会員登録の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、お客様に対しての会員 ID を発行し当サービスの**【会員登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、会員情報をサイトに紐付けて登録します。
3. 加盟店様は、お客様に対して登録された会員 ID を通知します。

2.3.2. 各インタフェース仕様詳細

2.3.2.1. 会員登録

接続先 URL

/payment/SaveMember.idPass

インタフェース概要

指定されたサイトに会員を登録します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
3	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	登録対象の会員IDを設定します。
5	MemberName		CHAR	255	会員名	登録する名前を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	登録された会員のIDを返却します。
2	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
3	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.4. 会員情報を更新する

会員の情報を更新します。

2.4.1. 会員更新の流れ

以下に、会員情報を更新する流れを説明します。

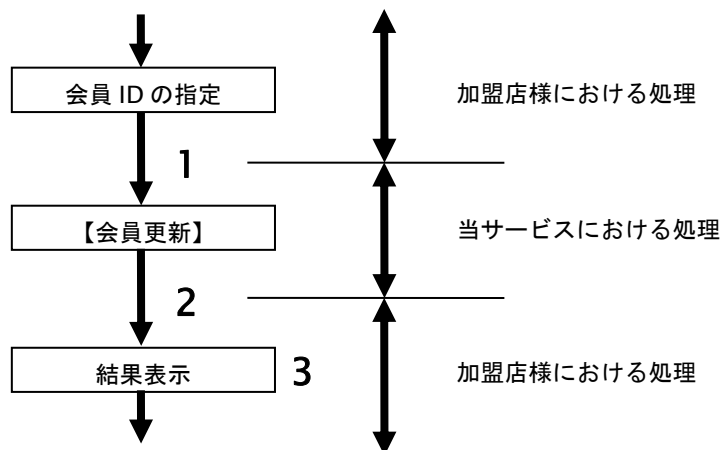


図 2.4.1-1 会員更新の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、更新する会員 ID を指定し当サービスの**【会員更新】**を呼び出します。
2. 当サービスは、サイトより指定された会員 ID の会員情報を更新します。
3. 加盟店様は、お客様に対して会員情報を更新した旨を通知します。

2.4.2. 各インタフェース仕様詳細

2.4.2.1. 会員更新

接続先 URL

/payment/UpdateMember.idPass

インタフェース概要

指定されたサイトに会員情報を更新します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
3	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	更新対象の会員IDを設定します。
5	MemberName		CHAR	255	会員名	更新する名前を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	更新された会員のIDを返却します。
2	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
3	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.5. 会員情報の削除をする

サイトから会員の情報を削除します。これにより、削除した会員情報は使用できなくなります。

※ 一度会員 ID を削除しますと、同じ会員 ID で再度登録することはできません。

2.5.1. 会員削除の流れ

以下に、会員情報を削除する流れを説明します。

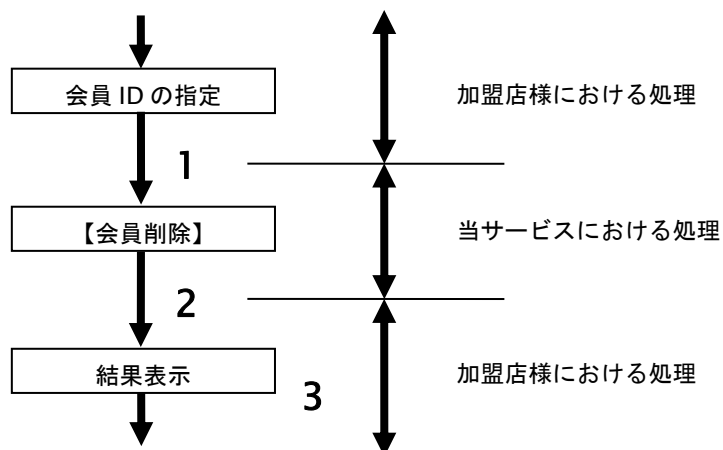


図 2.5.1-1 会員削除の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、削除する会員 ID を指定し当サービスの**【会員削除】**を呼び出します。
2. 当サービスは、サイトより指定された会員 ID の会員情報を削除します。
3. 加盟店様は、お客様に対して削除した旨を通知します。

尚、会員が退会する場合は、**【カード照会】**と**【カード削除】**、このインタフェースを併用してカード情報を削除することを推奨します。以下にその実現方法を記述します。

1. 会員が退会要求する。
2. **【カード照会】**を呼び出す。
3. **【カード削除】**を呼び出す。(お客様が登録しているカード枚数分の呼び出しが必要です。)
4. **【会員削除】**を呼び出す。
5. お客様に結果を通知する。

2.5.2. 各インタフェース仕様詳細

2.5.2.1. 会員削除

接続先 URL

/payment/DeleteMember.idPass

インタフェース概要

指定したサイトから会員情報を削除します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
3	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	削除対象の会員IDを設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	削除した会員のIDを返却します。
2	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
3	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.6. 会員情報を参照する

サイトに登録されている会員 ID 情報の参照が可能です。

※ 削除した会員 ID 情報は参照できません。実施した場合は、エラーとなります。

2.6.1. 会員参照の流れ

以下に、会員情報を参照する流れを説明します。

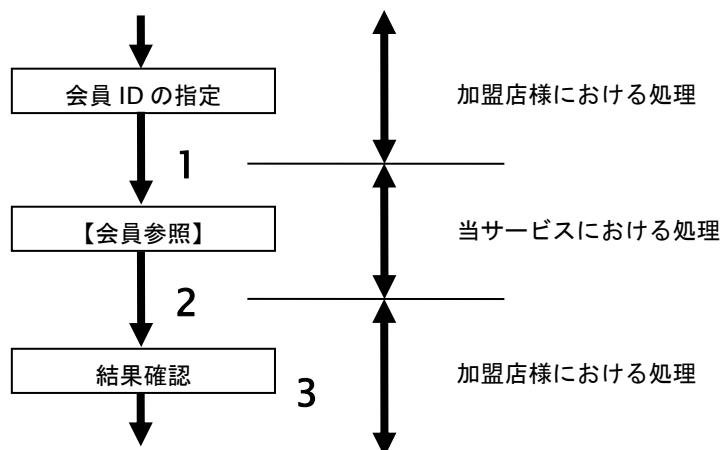


図 2.6.1-1 会員参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照したい会員 ID を指定し当サービスの【会員参照】を呼び出します。
2. 当サービスは、サイトより指定された会員 ID の会員情報を参照します。
3. 加盟店様は、参照した内容を確認します。

2.6.2. 各インタフェース仕様詳細

2.6.2.1. 会員参照

接続先 URL

/payment/SearchMember.idPass

インタフェース概要

指定したサイトの会員情報を参照します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
3	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	参照対象の会員IDを設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	照会した会員のIDを返却します。
2	MemberName	-	CHAR	255	会員名	照会した会員の名前を返却します。
3	DeleteFlag	-	CHAR	1	削除フラグ	0：未削除 を返却します。(※1)
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：既に削除された会員IDを参照した場合は「E01390002」のエラーコードを返却します。

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.7. カード情報を登録または更新する

会員に対してカード情報を登録します。また、登録連番を指定することで保有情報の更新を行うことも可能です。

尚、登録／更新を行う際には、カード会社と通信を行いカード情報が有効であるかを確認し有効な情報だけを保持します。カード登録連番は、指定したモードにより返却される内容が異なります。詳細は「1.2.4 カード登録連番の概念について」を参照ください。

また、登録連番を指定せずに、物理モードでカード登録／更新を行った場合は論理モードと異なり以下のような動作をしますのでご注意ください。

- 1) これから登録するカード番号と同一のカード番号が未登録の場合
新規として登録され、新しい登録連番が返却されます。
- 2) これから登録するカード番号と同一のカード番号が登録済みの場合
更新として認識され、カード番号以外の情報は更新します。該当した登録連番が返却されます。
(有効期限のみを更新したい場合を想定しています)

2.7.1. カード登録の流れ

以下に、カード情報を登録または更新する流れを説明します。

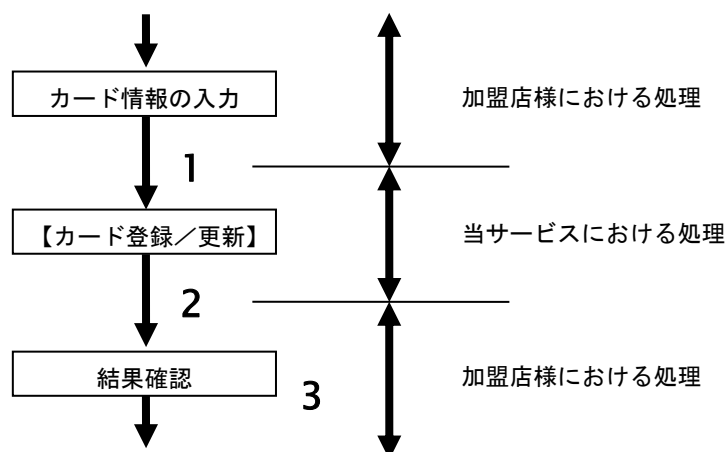


図 2.7.1-1 カード登録／更新の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、登録するカード情報をもって**【カード登録／更新】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたカード情報を使用してカード会社と通信を行い有効性が確認出来たら登録します。有効性が確認出来なかった場合は、エラーが返却されます。
3. 加盟店様は、登録された内容を確認します。

また、会員とカード番号を同時に登録する場合は、**【会員情報登録】**とこのインタフェースを併用の上、実施してください。

以下に併用しての実現方法を記述します。

1. 会員 ID を発行する。
2. **【会員登録】**を呼び出す。
3. お客様がカード情報を入力する。
4. **【カード登録／更新】**を呼び出す。
5. 有効性の確認が出来なかった場合は再入力を促す。
6. 4 を実施(以降繰り返し)
7. お客様に結果を通知する。

尚、2,3 は順不同です。

2.7.2. 各インタフェース仕様詳細

2.7.2.1. カード登録／更新

接続先 URL

/payment/SaveCard.idPass

インタフェース概要

指定した会員にカード情報を登録します。尚、サイトに設定されたショップ ID を使用してカード会社と通信を行い有効性の確認を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
3	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	カードを登録する対象の会員IDを設定します。
5	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定します。 0：論理モード(デフォルト) 1：物理モード
6	CardSeq	●	NUMBER	4	カード登録連番	登録時は、入力不可です。 更新時は、更新する値を設定します。
7	DefaultFlag		CHAR	1	洗替・継続課金フラグ	以下のいずれかを設定します。 0：継続課金対象としない(デフォルト) 1：継続課金対象とする
8	CardName		CHAR	10	カード会社略称	登録するカードのカード会社等を設定します。
9	CardNo	●	CHAR	16	カード番号	登録するカード番号を設定します。 ※カード番号の取扱いが許可された加盟店様のみ設定可能です。 詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。(※1)
10	CardPass		CHAR	20	カードパスワード	決済時に必要となるカードパスワードを設定します。
11	Expire	●	CHAR	4	有効期限	登録するカードに記載されている有効期限を設定します。カード上には「MM/YY」で指定されている場合がありますので、設定形式にご注意ください。(YYMM形式)(※1)
12	HolderName		CHAR	50	名義人	登録するカードに記載されている名義人を設定します。 更新時に未入力の場合、登録済みの名義人は空になるのでご注意ください。(※1)
13	Token	●	CHAR	-	トークン	半角英数 64 文字。 (※セキュリティ強度の見直しにより変更される可能性があります) カード番号トークン化サービスをご利用の場合、取得したトークンを設定してください。トークンが指定された場合、項目9,11,12,15は無視され、トークン取得時に指定したカード番号・有効期限・名義人・セキュリティコードが利用されます。(※1)

14	UpdateType		CHAR	1	カード番号更新区分	更新時に以下のいずれかを設定します。 1：全て更新(デフォルト) 2：カード番号以外を更新。カード番号は登録済みの値を引継ぐ。(カード会社略称と名義人は指定しない場合、空になります。) ※更新時のみ有効です。また、トークンが指定された場合はUpdateTypeの指定は無視され、トークンの情報でカード番号も更新されます。
15	SecurityCode		CHAR	4	セキュリティーコード	カードの裏面(あるいは表面)に記載されている3桁もしくは4桁の数字を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：カード番号(項目 9)・有効期限(項目 11)・名義人(項目 12)・セキュリティーコード(項目 15)とトークンはいずれかを指定してください。

トークンが指定された場合、項目 9,11,12,15 は無視され、トークン取得時に指定したカード番号・有効期限・名義人・セキュリティーコードが利用されます。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	CardSeq	-	CHAR	4	カード登録連番	登録が完了したカード番号の値を返却します。 同一カードでも、モードにより返却内容が異なります。
2	CardNo	-	CHAR	16	カード番号	登録したカード番号を返却します。 カード番号へのマスクはサイト情報に設定してある値を使用して行います。 ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。 詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
3	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	有効性チェックを行った際に仕向けたカード会社のコードを返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

カード属性照会APIが利用可能な場合は、以下の情報も出力します。※2

6	Brand	-	CHAR	16	国際ブランド	国際ブランド名(VISA, MASTER, JCB, AMEX, DINERS)を返します。 ※判別不能時は空文字を返します。
7	DomesticFlag	-	CHAR	1	国内発行フラグ	1 : 国内発行カード 0 : 海外発行カード 2 : 不明 (上記以外)
8	IssuerCode	-	CHAR	7	イシュアコード	イシュアコードを返します。 ※イシュアを特定できた場合のみ返却。
9	DebitPrepaidFlag	-	CHAR	1	デビット／プリペイドフラグ	2 : プリペイドカード 1 : デビットカード 0 : 上記以外
10	DebitPrepaid IssuerName	-	CHAR	75	デビット／プリペイドカード発行会社名	デビットプリペイドカード発行会社名 ※デビット(DebitPrepaidFlag =1)もしくはプリペイド(DebitPrepaidFlag =2)の場合のみ返却。
11	ForwardFinal	-	CHAR	7	最終仕向先のカード会社コード	最終仕向先のカード会社のコードを返します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

※2 : カード属性情報は、弊社が保有する情報を元に出力します。

2.8. カード情報の削除をする

登録されているカード情報の削除を行います。但し、物理削除は行わず論理削除となりますので、物理モードによるカード参照では削除されたカード情報も取得可能です。

2.8.1. カード削除の流れ

以下に、カード情報を削除する流れを説明します。

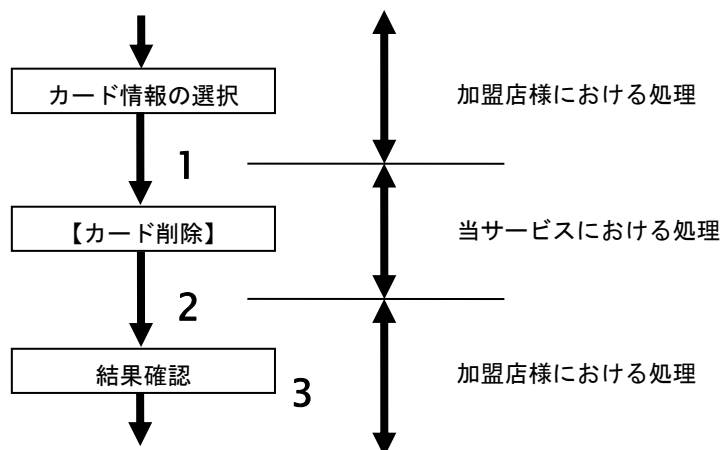


図 2.8.1-1 カード削除の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、お客様が選択した削除対象のカード情報をもって**【カード削除】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたカード情報を論理削除します。
3. 加盟店様は、お客様に削除された内容を通知します。

2.8.2. 各インタフェース仕様詳細

2.8.2.1. カード削除

接続先 URL

/payment/DeleteCard.idPass

インタフェース概要

指定した会員のカード情報を削除します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
3	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	カードを削除する対象の会員IDを設定します。
5	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定します。 0：論理モード(デフォルト) 1：物理モード
6	CardSeq	◎	CHAR	4	カード登録連番	削除を行うカードの登録連番を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	CardSeq	-	CHAR	4	カード登録連番	削除が完了したカード番号の値を返却します。
2	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。
3	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.9. カード情報を参照する

会員に登録されているカード情報を返します。取得内容は論理モードの場合には、会員が登録しているカード情報で有効なカード情報のみとなります。物理モードの場合には、会員の削除したカード情報を含む全てのカード情報を取得できます。

2.9.1. カード参照の流れ

以下に、カード情報を参照する流れを説明します。

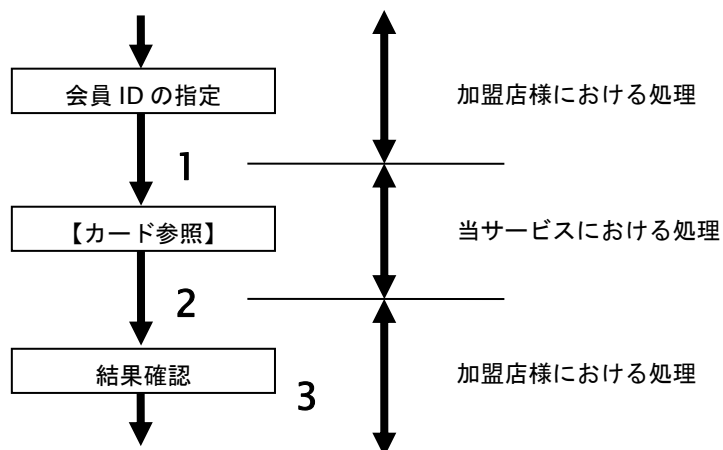


図 2.9.1-1 カード参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照対象の会員 ID をもって**【カード参照】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたカード情報を参照します。
3. 加盟店様は、返却されたカード情報を確認します。

2.9.2. 各インタフェース仕様詳細

2.9.2.1. カード参照

接続先 URL

/payment/SearchCard.idPass

インタフェース概要

指定した会員のカード情報を参照します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
3	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	カードを参照する対象の会員IDを設定します。
5	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定します。 0：論理モード(デフォルト) 1：物理モード
6	CardSeq		CHAR	4	カード登録連番	参照するカードの登録連番を設定します。
7	UseFloatingMask		CHAR	1	可変マスク利用有無	以下のいずれかを設定します。 0：可変マスクを利用しない(デフォルト) 1：可変マスクを利用する

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	CardSeq	-	CHAR	4	カード登録連番	登録されているカードが複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
2	DefaultFlag	-	CHAR	1	洗替・継続課金フラグ	登録されているカードが複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
3	CardName	-	CHAR	10	カード会社略称	登録されているカードが複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	CardNo	-	CHAR	16	カード番号	登録されているカードが複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。 カード番号へのマスクはサイト情報に設定してある値を使用していきます。 ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。 詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
5	Expire	-	CHAR	4	有効期限	登録されているカードが複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	HolderName	-	CHAR	50	名義人	登録されているカードが複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
7	DeleteFlag	-	CHAR	1	削除フラグ	入力パラメータのカード登録連番モードが物理の場合のみ返却します。 0：未削除 1：削除済
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。

カード属性照会APIが利用可能な場合は、以下の情報も出力します。※3

10	Brand	-	CHAR	16	国際ブランド	国際ブランド名(VISA, MASTER, JCB, AMEX, DINERS)を返します。 ※判別不能時は空文字を返します。
11	DomesticFlag	-	CHAR	1	国内発行フラグ	1：国内発行カード 0：海外発行カード 2：不明（上記以外）
12	IssuerCode	-	CHAR	7	イシュアコード	イシュアコードを返します。 ※イシュアを特定できた場合のみ返却。
13	DebitPrepaidFlag	-	CHAR	1	デビット／プリペイドフラグ	2：プリペイドカード 1：デビットカード 0：上記以外
14	DebitPrepaidIssuerName	-	CHAR	75	デビット／プリペイドカード発行会社名	デビットプリペイドカード発行会社名 ※デビット(DebitPrepaidFlag =1)もしくはプリペイド(DebitPrepaidFlag =2)の場合のみ返却。
15	ForwardFinal	-	CHAR	7	最終仕向先のカード会社コード	最終仕向先のカード会社のコードを返します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：取得時に、複数ある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、各項目のn番目が対となります)

CardSeq=1|2&DefaultFlag=1|0&CardName=UC|&CardNo=*****1111|*****1111...以下省略

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

※3：カード属性情報は、弊社が保有する情報を元に出力します。

2.10. 登録したカード情報で決済する<本人認証サービスを未使用>

事前に会員が登録したカード情報を使用して決済を行います。尚、ここでは決済時に本人認証サービスを使用しない決済について説明します。

2.10.1. 会員 ID 決済の流れ

以下に、本人認証サービスを使用しない会員 ID 決済の流れを説明します。

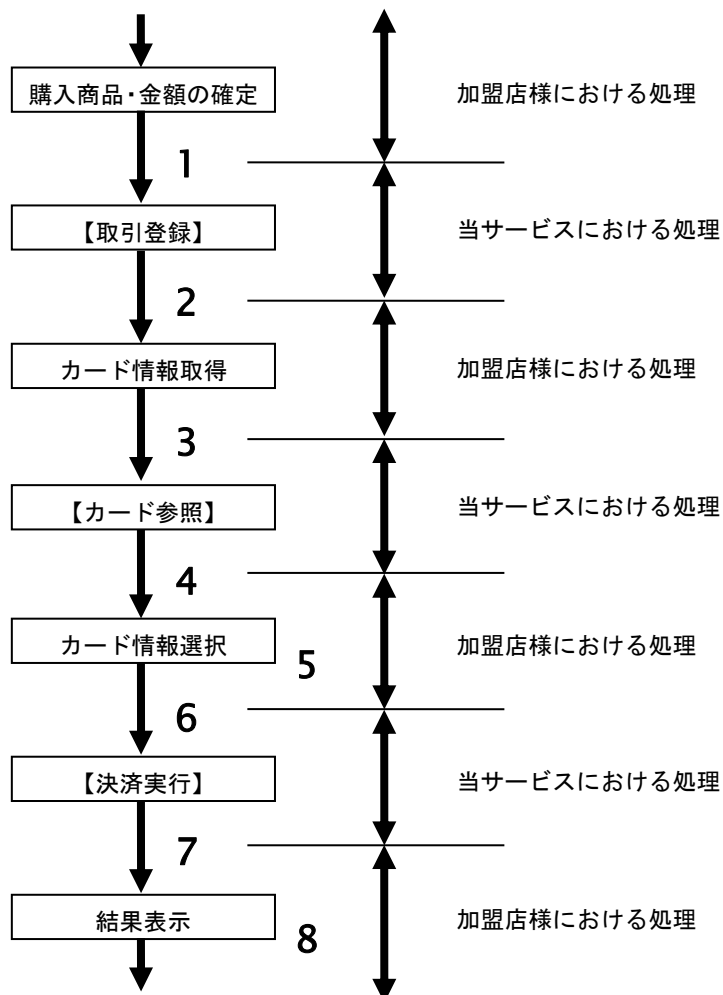


図 2.10.1-1 会員 ID 決済<本人認証サービス未使用>の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、会員 ID をもって、当サービスの**【カード参照】**を呼び出します。
4. 当サービスは、対象会員のカード情報を参照し返します。
5. 加盟店様は、お客様にカード情報を選択する画面を表示します。
6. 加盟店様は、お客様が選択したカード情報のカード登録連番をもって、当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
7. 当サービスは、カード登録連番よりカード情報を参照します。取得したカード情報を使用してカード会社との通信を行い決済を実施し結果を返します。
8. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.10.2. 各インタフェース仕様詳細

2.10.2.1. 取引登録

「2.1.2.1 取引登録」の内容を参照ください。

2.10.2.2. カード情報照会

「2.9.2.1 カード参照」の内容を参照ください。

2.10.2.3. 決済実行

接続先 URL

/payment/ExecTran.idPass

インタフェース概要

お客様が選択したカード登録連番のカード情報を取得します。取得したカード情報でカード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
5	Method	●	CHAR	1	支払方法	以下のいずれかを設定します。 1: 一括 2: 分割 3: ボーナス一括 4: ボーナス分割 5: リボ ※処理区分が『有効性チェック』を除き、必須です。
6	PayTimes	●	NUMBER	2	支払回数	※支払方法が『分割』もしくは『ボーナス分割』は必須です。
7	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
8	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
9	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	決済する対象の会員IDを設定します。
10	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定します。 0: 論理モード(デフォルト) 1: 物理モード(※1)
11	CardSeq	◎	NUMBER	4	カード登録連番	決済に使用するカード登録連番を設定します。(※1)
12	CardPass	●	CHAR	20	カードパスワード	カード登録時に設定したパスワードを設定します。(※2)
13	SecurityCode		CHAR	4	セキュリティーコード	カードの裏面(あるいは表面)に記載されている3桁もしくは4桁の数字を設定します。
14	ClientField1			100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
15	ClientField2			100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
16	ClientField3			100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
17	ClientFieldFlag			1	加盟店自由項目 返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 - : 出力時】

※1: 物理モードの場合、削除カードでの決済が可能です。

※2: カード登録時に CardPass をセットした場合、その会員 ID を利用しての決済については、必須項目となります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ACS	-	CHAR	1	ACS呼出判定	0 : ACS呼出不要
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼出時に指定した値を返却します。
3	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	与信を行ったカード会社の会社コードを返却します。
4	Method	-	CHAR	1	支払方法	お客様が入力もしくは選択した支払方法を返却します。
5	PayTimes	-	CHAR	2	支払回数	お客様が入力もしくは選択した支払回数を返却します。
6	Approve	-	CHAR	7	承認番号	カード会社が発行した与信の承認番号を返却します。
7	TranID	-	CHAR	28	トランザクションID	弊社が処理を行う毎に発行している処理番号を返却します。
8	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	与信を実施した日付を返却します。 (yyyyMMddHHmmss形式)
9	CheckString	-	CHAR	32	MD5ハッシュ	OrderID~TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(※1)を返却します。
10	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグの値が"1"(返却する)の場合のみ返却します。
11	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	
12	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.11. 登録したカード情報で決済する<本人認証サービスを使用>

事前に会員が登録したカード情報を使用しての決済を行います。ここでは決済時に本人認証サービスを使用する決済について説明します。

2.11.1. カード番号を選択し、本人認証を行って決済する場合の流れ

以下に、本人認証サービスを使用する会員 ID 決済の流れを説明します。

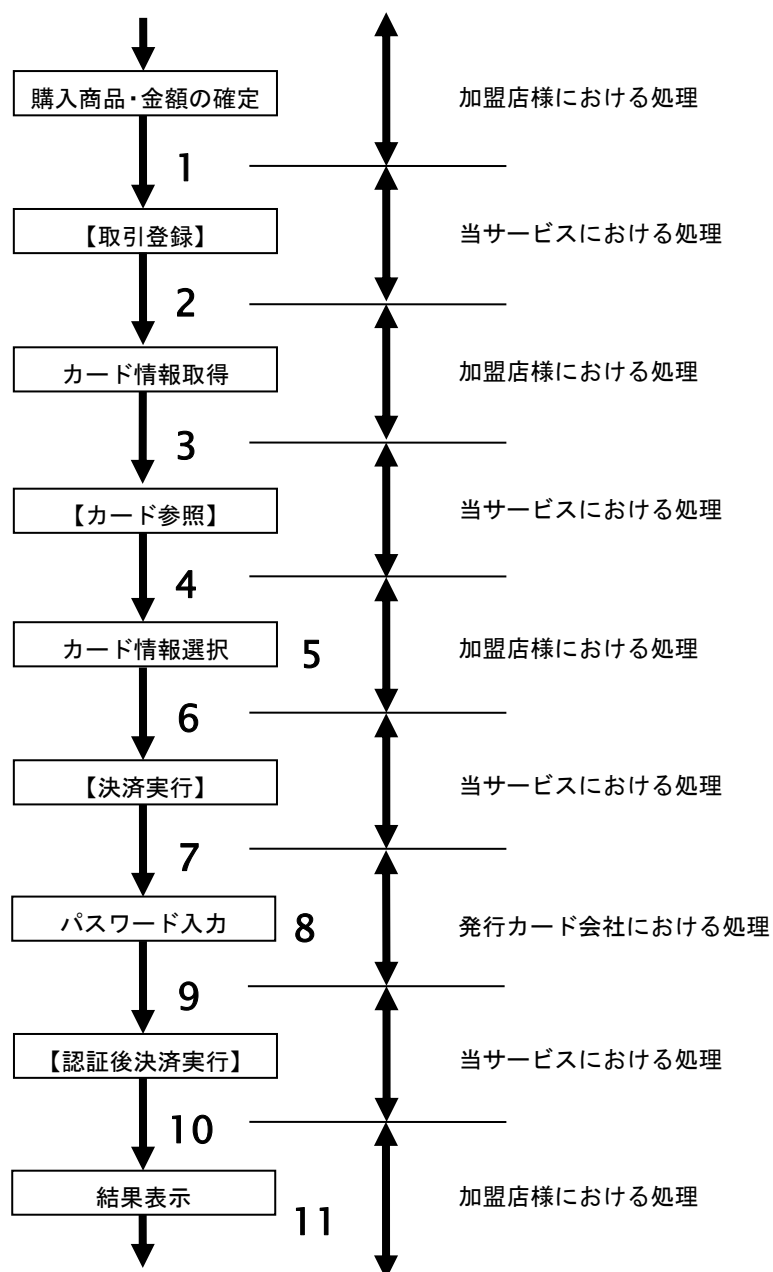


図 2.11.1-1 会員 ID 決済<本人認証サービス使用>の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、会員 ID をもって、当サービスの【カード参照】を呼び出します。
4. 当サービスは、対象会員のカード情報を参照し、返します。
5. 加盟店様は、お客様にカード情報を選択する画面を表示します。
6. 加盟店様は、お客様が選択したカード情報のカード登録連番をもって、当サービスの【決済実行】を呼び出します。
7. 当サービスは、カード登録連番よりカード情報を参照します。取得したカード情報を使用して本人認証サービスとの通信を行い本人認証可能なカード情報が否かを判定し本人認証パスワード入力画面 URL を返します。
カード情報が本人認証サービス不可の場合は、カード会社と通信を行い決済を実施し、結果を返します。
8. 加盟店様は、当サービスより返された本人認証パスワード入力画面 URL を呼び出します。
9. 加盟店様は、本人認証サービスより返された値をもって当サービスの【認証後決済実行】を呼び出します。
10. 当サービスは、本人認証サービスより戻された値を解析し、その情報を使用してカード会社と通信を行い決済を実施して結果を返します。
11. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.11.2. 各インタフェース仕様詳細

2.11.2.1. 取引登録

「2.1.2.1 取引登録」の内容を参照ください。

2.11.2.2. カード情報照会

「2.9.2.1 カード参照」の内容を参照ください。

2.11.2.3. 決済実行

接続先 URL

/payment/ExecTran.idPass

インタフェース概要

お客様が選択したカード登録連番のカード情報を取得します。カード情報が本人認証サービスに対応していない場合は、カード会社との通信を行い決済を実行します。その際の出力パラメータは「2.10.2.3 決済実行」の出力パラメータと同じになります。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
5	Method	●	CHAR	1	支払方法	以下のいずれかを設定します。 1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ ※処理区分が『有効性チェック』を除き、必須です。
6	PayTimes	●	NUMBER	2	支払回数	※支払方法が『分割』もしくは『ボーナス分割』は必須です。
7	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
8	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
9	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	決済する対象の会員IDを設定します。
10	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定します。 0：論理モード(デフォルト) 1：物理モード(※1)
11	CardSeq	◎	NUMBER	4	カード登録連番	決済に使用するカード登録連番を設定します。(※1)
12	CardPass	●	CHAR	20	カードパスワード	カード登録時に設定したパスワードを設定します。(※2)
13	SecurityCode		CHAR	4	セキュリティコード	カードの裏面(あるいは表面)に記載されている3桁もしくは4桁の数字を設定します。
14	HttpAccept			-	HTTP_ACCEPT	
15	HttpUserAgent			-	HTTP_USER_AGENT	
16	DeviceCategory			1	使用端末情報	以下のいずれかを設定します。 0：PC 1：携帯装置(2008年9月現在 未対応)
17	ClientField1			100	加盟店自由項目1	自由に設定してください。
18	ClientField2			100	加盟店自由項目2	自由に設定してください。
19	ClientField3			100	加盟店自由項目3	自由に設定してください。
20	ClientFieldFlag			1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0：返却しない(デフォルト) 1：返却する

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：物理モードの場合、削除カードでの決済が可能です。

※2：カード登録時に CardPass をセットした場合、その会員 ID を利用しての決済については、必須項目となります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ACS	-	CHAR	1	ACS呼出判定	1 : ACS呼出要
2	ACSUrl	-	CHAR	-	本人認証パスワード入力画面URL	本人認証パスワード入力画面のURLを返却します。
3	PaReq	-	CHAR	-	3Dセキュア認証要求電文	カード会社で暗号化された値を返却します。
4	MD	-	CHAR	32	取引ID	セッション管理に使用するための値を返却します。

2.11.2.4. カード会社のパスワード入力画面を呼び出す

「2.2.2.3 カード会社のパスワード入力画面を呼び出す」の内容を参照ください。

2.11.2.5. 認証後決済実行

「2.2.2.4 認証後決済実行」の内容を参照ください。

2.12. 決済の内容を取り消す

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済内容を取り消すこと(以下、決済取消)が可能です。処理区分は状況に応じて『VOID: 取消』、『RETURN: 返品』、『RETURNX: 月跨り返品』を設定してください。もしくは一律『CANCEL: キャンセル』を設定すると、当サービスにて状況に応じて上記 3 つの処理区分いずれかに変換し処理します。

各処理区分の説明は、「導入ガイド」> [6. 処理区分一覧] に記載がありますので、参照ください。

※ 決済の取り消しを行っても与信枠はすぐに戻らない場合があります。

与信枠への反映はカード会社によってタイミングが異なります。

2.12.1. 決済内容を取り消す流れ

以下に、決済の内容を取り消す流れを説明します。

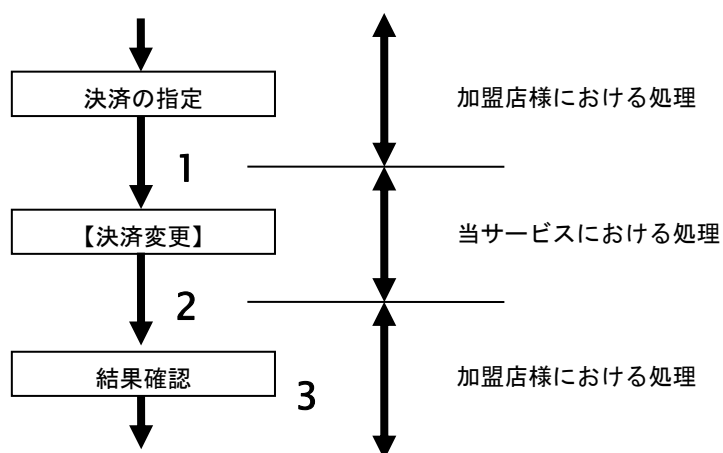


図 2.12.1-1 決済取消の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、変更する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【決済変更】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された処理区分に対する処理をカード会社と通信を行い実施します。
3. 加盟店様は、決済取消の結果を確認します。

2.12.2. 各インタフェース仕様詳細

2.12.2.1. 決済変更

接続先 URL

/payment/AlterTran.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容の取り消しを行います。指定された取引情報を使用してカード会社と通信を行い取り消しを実施します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	以下のいずれかを設定します。 VOID：取消 RETURN：返品 RETURNX：月跨り返品 または一律CANCEL：キャンセルを設定すると自動的に上記3つのいずれかに変換されます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【決済変更】呼出時に指定した値を返却します。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	【決済変更】呼出時に指定した値を返却します。
3	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	与信を行ったカード会社の会社コードを返却します。
4	Approve	-	CHAR	7	承認番号	カード会社が発行した与信の承認番号を返却します。
5	TranID	-	CHAR	28	トランザクションID	弊社が処理を行う毎に発行している処理番号を返却します。
6	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	処理を実施した日付を返却します。 (yyyyMMddHHmmss形式)
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.13. 取り消した決済に再度オーソリを行う

取り消しが完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、再度オーソリを実施すること(以下、再オーソリ)が可能です。但し、以下のような場合は再オーソリがエラーとなる場合があります。

- ・ 取り消し後、すぐに再度オーソリを実施した場合
(与信枠が戻っていない場合には、限度額オーバーになる場合があります)
- ・ 初期のオーソリ時点から、長期の時間経過があった場合
(時間経過によりカードの有効期限エラーまたはカード状況により限度額オーバー等のエラーとなる場合があります。
詳細な理由に関してはお客様の個人情報にも関わりますので、お客様ご自身からカード券面に記載のカード発行会社へお問い合わせください。)

2.13.1. 再オーソリを行う流れ

以下に、再度オーソリを行う流れを説明します。

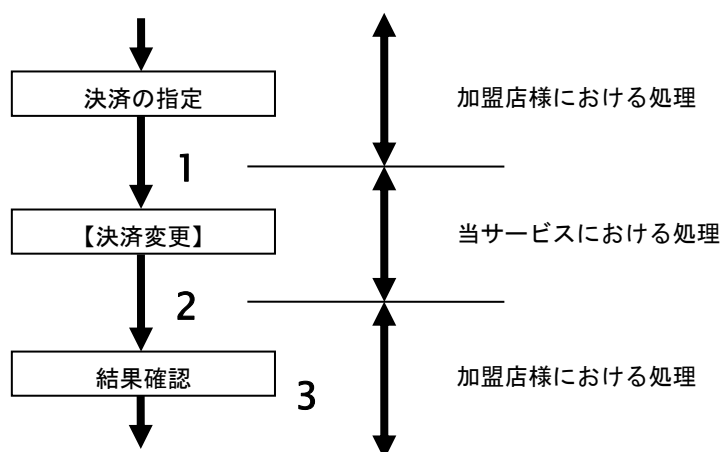


図 2.13.1-1 再オーソリの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、再オーソリする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【決済変更】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された処理区分に対する処理をカード会社と通信を行い実施します。
3. 加盟店様は、再オーソリの結果を確認します。

2.13.2. 各インタフェース仕様詳細

2.13.2.1. 決済変更

接続先 URL

/payment/AlterTran.idPass

インタフェース概要

取り消されている決済に対して再オーソリを行います。指定された決済情報を使用してカード会社と通信を行い実施します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	以下のいずれかを設定します。 CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上
7	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	処理区分が『有効性チェック』を除き、必須です。
8	Tax		NUMBER	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が 決済金額となります。
9	Method	◎	CHAR	1	支払方法	以下のいずれかを設定します。 1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ
10	PayTimes	●	NUMBER	2	支払回数	※支払方法が『分割』もしくは『ボーナス分割』は必須です。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

「2.12.2.1 決済変更」の出力パラメータ内容を参照ください

2.14. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

※ 仮売上実施後、60 日以上経過してから実売上を行った場合はエラーとなります。

詳細は、「1.2.1 取引について」の内容を参照ください

2.14.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

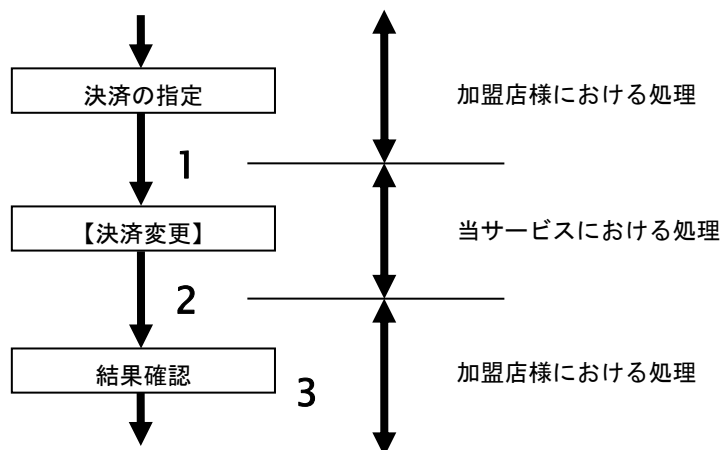


図 2.14.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【決済変更】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の売上を確定します。
3. 加盟店様は、実売上の結果を確認します。

2.14.2. 各インタフェース仕様詳細

2.14.2.1. 決済変更

接続先 URL

/payment/AlterTran.idPass

インタフェース概要

仮売上 of 決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	SALES : 実売上
7	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	仮売上を実施した際の【取引登録】で指定した金額を設定します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

「2.12.2.1 決済変更」の出力パラメータ内容を参照ください

2.15. 完了した決済に金額の変更を行う

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済内容の金額を変更すること(以下、金額変更)が可能です。

内部的に、決済変更の取消／返品と再オーソリを実施した結果を返します。そのため、金額変更を実施した場合は取引履歴には取消／返品と再オーソリの 2 件が作成されます。

尚、取消／返品または再オーソリ時にエラーが発生した場合は、処理前の取引状態に戻ります。その際、取引履歴には取消／返品または再オーソリの 1 件が作成されます。

2.15.1. 金額変更を行う流れ

以下に、実売上を行う流れを説明します。

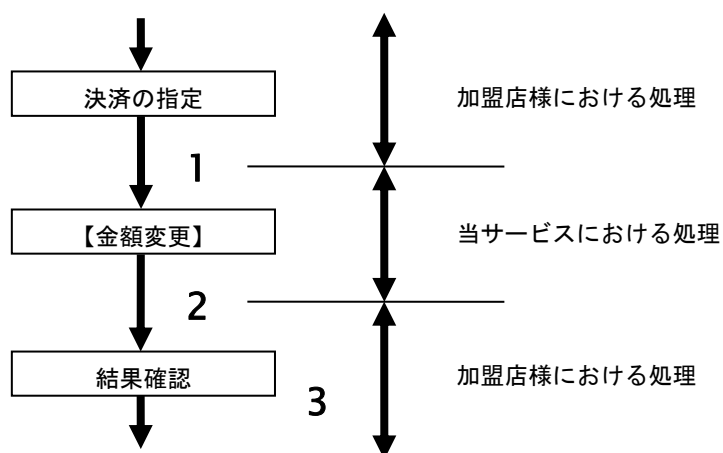


図 2.15.1-1 金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【金額変更】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された処理区分に対する処理をカード会社と通信を行い実施します。
3. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

2.15.2. 各インタフェース仕様詳細

2.15.2.1. 金額変更

接続先 URL

/payment/ChangeTran.idPass

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して金額の変更を行います。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
6	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	以下のいずれかを設定 CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上 SAUTH：簡易オーソリ ※金額変更 後に該当する処理区分を指定してください。
7	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	変更後の利用金額を設定します。
8	Tax		NUMBER	7	税送料	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	【金額変更】呼出時に指定した値を返却します。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	【金額変更】呼出時に指定した値を返却します。
3	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	与信を行ったカード会社の会社コードを返却します。
4	Approve	-	CHAR	7	承認番号	カード会社が発行した与信の承認番号を返却します。
5	TranID	-	CHAR	28	トランザクションID	弊社が処理を行う毎に発行している処理番号を返却します。
6	TranDate	-	CHAR	14	決済日付	与信を実施した日付を返却します。 (yyyyMMddHHmmss形式)
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.16. 決済結果を参照する

オーダーID を指定すると、該当の決済結果を取得すること(以下、取引状態参照)が可能です。通信障害でタイムアウトが発生する等の状況で決済結果が取得できなかった場合は、本インタフェースにて取得してください。

2.16.1. 取引状態参照の流れ

以下に、決済の結果を参照する流れを説明します。

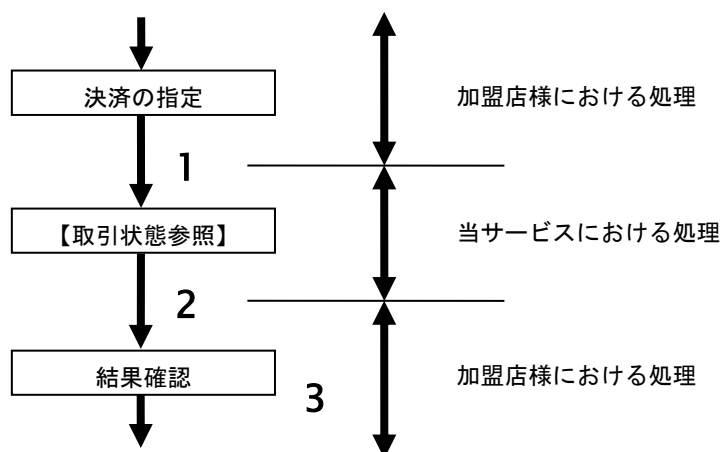


図 2.16.1-1 取引状態参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照する取引のオーダーID を指定し、当サービスの**【取引状態参照】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の内容を取得して返します。
3. 加盟店様は、取引の結果を確認します。

2.16.2. 各インタフェース仕様詳細

2.16.2.1. 取引状態参照

接続先 URL

/payment/SearchTrade.idPass

インタフェース概要

指定したオーダーID の取引情報を取得します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	参照対象の取引に指定した値を設定します。
5	UseSiteMaskLevel	●	CHAR	1	サイト設定のマスクレベル利用有無	出力パラメータのカード番号へのマスクをサイト情報に設定してある値を利用して行うかを設定します。 0 : 利用しない(デフォルト) 1 : 利用する ※UseFloatingMaskを指定する場合は、必須です。
6	UseFloatingMask		CHAR	1	可変マスク利用有無	以下のいずれかを設定します。 0 : 可変マスクを利用しない(デフォルト) 1 : 可変マスクを利用する

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【取引状態参照】の呼出時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	15	現状態	以下のいずれを返却します。 UNPROCESSED : 未決済 AUTHENTICATED : 未決済(3DS登録済) CHECK : 有効性チェック CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 VOID : 取消 RETURN : 返品 RETURNX : 月跨り返品 SAUTH : 簡易オーソリ
3	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を行った日時を返却します。 (yyyyMMddHHmmss形式)

4	JobCd	-	CHAR	10	処理区分	以下のいずれかを返却します。 CHECK：有効性チェック CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上 SALES：実売上 VOID：取消 RETURN：返品 RETURNX：月跨り返品 SAUTH：簡易オーソリ
5	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	参照した取引に設定されている値を返却します。
6	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	参照した取引に設定されている値を返却します。
7	ItemCode	-	CHAR	7	商品コード	参照した取引に設定されている値を返却します。
8	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	参照した取引に設定されている値を返却します。
9	Tax	-	NUMBER	7	税送料	参照した取引に設定されている値を返却します。
10	SiteID	-	CHAR	13	サイトID	参照した取引に設定されている値を返却します。
11	MemberID	-	CHAR	60	会員ID	参照した取引に設定されている値を返却します。
12	CardNo	-	CHAR	16	カード番号	参照した取引に設定されている値を返却します。 サイト設定のマスクレベルを利用する場合は、設定に応じてマスクされた値となり、利用しない場合は下4桁以外伏字。 ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。 詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
13	Expire	-	CHAR	4	有効期限	参照した取引に設定されている値を返却します。
14	Method	-	CHAR	1	支払方法	以下のいずれかを返却します。 1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ
15	PayTimes	-	NUMBER	2	支払回数	参照した取引に設定されている値を返却します。
16	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	参照した取引に設定されている値を返却します。
17	TranID	-	CHAR	28	トランザクションID	参照した取引に設定されている値を返却します。
18	Approve	-	CHAR	7	承認番号	参照した取引に設定されている値を返却します。
19	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目1	参照した取引に設定されている値を返却します。
20	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目2	参照した取引に設定されている値を返却します。
21	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目3	参照した取引に設定されている値を返却します。
22	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
23	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.17. カード番号決済に使用したカード番号を登録する

正常に完了したカード番号決済に使用したカード情報を登録すること(以下、決済後カード登録)が可能です。本インタフェースを使用した場合には、決済にて有効性の確認が取れていますので、カード会社への有効性チェックは行いません。

2.17.1. 決済に使用したカード番号登録の流れ

以下に、決済で使用したカード情報を登録する流れを説明します。

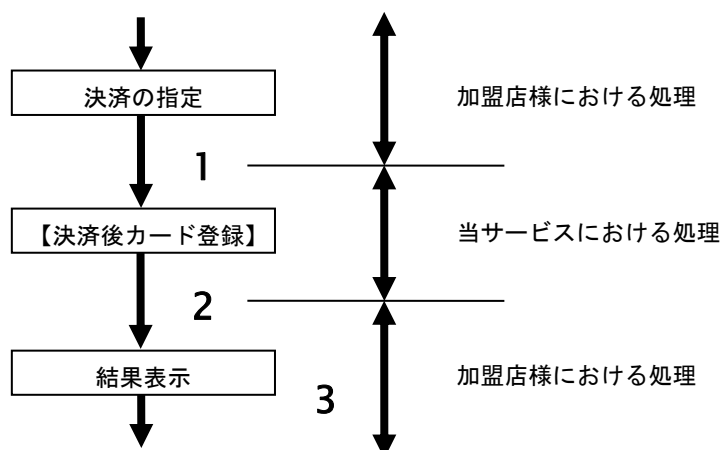


図 2.17.1-1 決済後カード登録の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、カード番号を登録する取引のオーダーID と登録する対象の会員 ID を指定し、当サービスの**【決済後カード登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の内容を取得して、指定された会員のカード情報を登録します。
3. 加盟店様は、お客様に登録結果を表示します。

2.17.2. 各インタフェース仕様詳細

2.17.2.1. 決済後カード登録

接続先 URL

/payment/TradedCard.idPass

インタフェース概要

指定されたオーダーID の取引に使用したカードを登録します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	カード登録対象の取引に指定した値を設定します。
5	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
6	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
7	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	カードを登録する対象の会員IDを設定します。
8	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定します。 0 : 論理モード(デフォルト) 1 : 物理モード
9	DefaultFlag		CHAR	1	洗替・継続課金フラグ	以下のいずれかを設定します。 0 : 継続課金対象としない(デフォルト) 1 : 継続課金対象とする
10	CardSeq		NUMBER	4	カード登録連番	入力無しの場合、登録になります。 更新時は、更新する値を設定します。
11	HolderName		CHAR	50	名義人	登録するカードに記載されている名義人を設定します。
12	CardName		CHAR	10	カード会社略称	カード会社略称を設定します。 省略した場合、指定されたオーダーIDの取引のカード会社略称を設定します。
13	CardPass		CHAR	20	カードパスワード	決済時に必要となるカードパスワードを設定します。
14	UseSiteMaskLevel		CHAR	1	サイト設定のマスクレベル利用有無	出力パラメータのカード番号へのマスクを サイト情報に設定してある値を利用して 行うかを設定します。 0 : 利用しない(デフォルト) 1 : 利用する

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	CardSeq	-	CHAR	4	カード登録連番	登録が完了したカード番号の値を返却します。 同一カードでも、モードにより返却内容が異なります。
2	CardNo	-	CHAR	16	カード番号	登録したカード番号を返却します。 サイト設定のマスクレベルを利用する場合は設定に応じてマスクされた値、利用しない場合は下4桁以外マスクされた値を返却します。 ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
3	Forward	-	CHAR	7	仕向先コード	決済を行ったときに仕向けたカード会社のコードを返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.18. 取引状態の参照または決済結果の通知を受信する

取引状態の参照方法、および決済結果の通知の受信方法につきましては、「プロトコルタイプ(マルチ決済インタフェース仕様)」を参照ください。

2.19. クレジットカードの属性情報を取得する

クレジットカードに関する属性情報を取得します。

以下の指定方法でクレジットカード番号の属性情報を取得できます。

指定方法	説明
クレジットカード番号	指定されたクレジットカード番号の属性情報を取得します。
ショップID+オーダーID	ショップIDとオーダーIDで指定された取引で使用されたカード番号の属性情報を取得します。
サイトID+会員ID (+カード登録連番)	<p>サイトIDと会員IDに紐づくクレジットカード番号の属性情報を取得します。</p> <p>カード登録連番モード省略時は論理モードで動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カード登録連番を指定した場合は、該当するカード情報のカード番号の属性情報を取得します。 ・カード登録連番を省略した場合は、会員IDに登録されているすべてのカードの属性情報を返却します。

補足事項)

- ・本APIを利用するには契約が必要です。
- ・本APIで返却する情報は、弊社で保持するBIN情報を元に判定しています。

2.19.1. カード属性照会の流れ

以下に、カード属性を照会する流れを説明します。

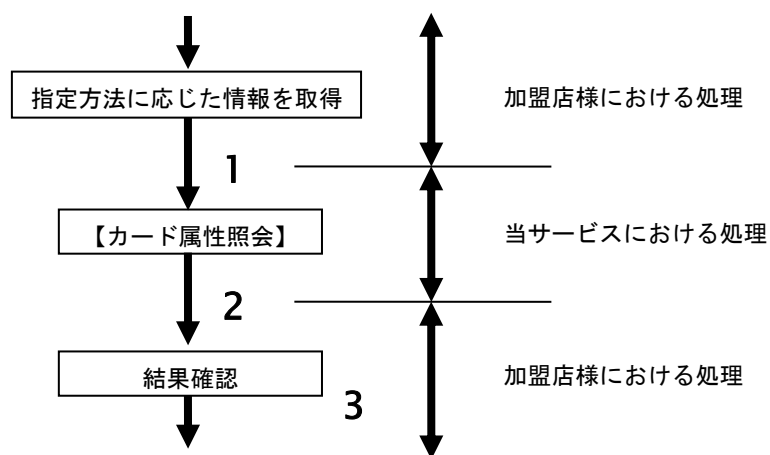


図 カード参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、指定方法に応じた情報をもって**【カード属性照会】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたカード属性情報を調査します。
3. 加盟店様は、返却されたカード属性情報を確認します。

2.19.2. 各インタフェース仕様詳細

2.19.2.1. カード属性照会

接続先 URL

/payment/SearchCardDetail.idPass

インタフェース概要

指定したクレジットカードの属性情報を取得します。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

トークンを指定して呼び出す場合：

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	Token	◎	CHAR	-	カード情報トークン	半角英数 64 文字。 (※セキュリティ強度の見直しにより変更される可能性があります) カード情報トークン化サービスをご利用の場合、取得したトークンを設定します。
5	SearchType		CHAR	1	検索タイプ	1：独自BINに設定された情報を返却します。 ※独自BINはショップ管理画面にて設定します。
6	UseFloatingMask		CHAR	1	可変マスク利用有無	以下のいずれかを設定します。 0：可変マスクを利用しない(デフォルト) 1：可変マスクを利用する

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※トークンの利用は1度のみとなっており、本機能利用後カード登録を利用する場合はトークンを2つ取得してください。
取得の仕方については、別紙「トークン決済サービス仕様書」を参照してください。

カード番号を指定して呼び出す場合：

※カード番号の取扱いが許可された加盟店様のみ利用可能です。

詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	CardNo	◎	CHAR	16	カード番号	属性情報を取得する対象となるカード番号を設定します。
5	SearchType		CHAR	1	検索タイプ	1：独自BINに設定された情報を返却します。 ※独自BINはショップ管理画面にて設定します。
6	UseFloatingMask		CHAR	1	可変マスク利用有無	出力パラメータのカード番号へのマスクを、 カード番号の桁数によらずサイト情報に設定してある値を利用して行うかを設定します。 0：可変マスクを利用しない(デフォルト) 1：可変マスクを利用する

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

ショップID+オーダーIDを指定して呼び出す場合：

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	属性情報を取得する対象となる取引の オーダーIDを設定します。
5	SearchType		CHAR	1	検索タイプ	1：独自BINに設定された情報を返却します。 ※独自BINはショップ管理画面にて設定します。
6	UseFloatingMask		CHAR	1	可変マスク利用有無	出力パラメータのカード番号へのマスクを、 カード番号の桁数によらずサイト情報に設定 してある値を利用して行うかを設定します。 0：可変マスクを利用しない(デフォルト) 1：可変マスクを利用する

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

補足事項)

- ・対象となる取引にカード番号が登録されている必要があります。(ExecTranが実行済みであること)
- ・出力される仕向先パラメータの値は、現時点での仕向先です。(取引実行時の仕向先ではありません)

サイトID+会員ID(+カード登録連番)を指定して呼び出す場合：

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
3	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	カードを参照する対象の会員IDを設定します。
5	SeqMode		CHAR	1	カード登録連番モード	以下のいずれかを設定 0：論理モード(デフォルト) 1：物理モード
6	CardSeq		CHAR	4	カード登録連番	参照するカードの登録連番を設定します。
7	SearchType		CHAR	1	検索タイプ	1：独自BINに設定された情報を返却します。 ※独自BINはショップ管理画面にて設定します。
8	ShopID	●	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。 「検索タイプ」に 1 を指定した場合に必須 です。
9	ShopPass	●	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。 「検索タイプ」に 1 を指定した場合に必須 です。
10	UseFloatingMask		CHAR	1	可変マスク利用有無	出力パラメータのカード番号へのマスクを、 カード番号の桁数によらずサイト情報に設定 してある値を利用して行うかを設定します。 0：可変マスクを利用しない(デフォルト) 1：可変マスクを利用する

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

補足事項)

- ・カード登録連番を省略した場合は、会員IDに登録されているすべてのカード情報を返却します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。※2

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	CardNo	-	CHAR	16	カード番号	マスクされたカード番号を返却します。 カード番号のマスクはサイトに設定された値を使用して行います。 ※カード番号の取扱いが許可されていない加盟店様の場合は、マスク形式が制限されます。 詳細については「1.2.5. 入出力パラメータのカード番号の制限について」を参照してください。
2	Brand	-	CHAR	16	国際ブランド	国際ブランド名(VISA, MASTER, JCB, AMEX, DINERS)を返却します。 ※判別不能時は空文字を返却します。
3	DomesticFlag	-	CHAR	1	国内発行フラグ	1: 国内発行カード 0: 海外発行カード 2: 不明 (上記以外)
4	IssuerCode	-	CHAR	7	イシュアコード	イシュアコードを返却します。 ※イシュアを特定できた場合のみ返却。
5	DebitPrepaidFlag	-	CHAR	1	デビット／プリペイドフラグ	2: プリペイドカード 1: デビットカード 0: 上記以外
6	DebitPrepaidIssuerName	-	CHAR	75	デビット／プリペイドカード発行会社名	デビットプリペイドカード発行会社名 ※デビット(DebitPrepaidFlag =1)もしくはプリペイド(DebitPrepaidFlag =2)の場合のみ返却。
7	ForwardFinal	-	CHAR	7	最終仕向先のカード会社コード	最終仕向先のカード会社のコードを返却します。
8	Info1	-	CHAR	100	加盟店設定情報1	この項目は入力パラメータ「検索タイプ」に1を指定した場合に返却されます。 独自BINに設定された情報を返却します。
9	Info2	-	CHAR	100	加盟店設定情報2	※入力パラメータで指定したクレジットカードに該当する独自BINが複数ある場合、そのBINに設定された情報を「#」区切りで返却します。 Info1=AAA#BBB&Info2=CCC#DDD・・・以下省略 (URLエンコードはされません。)
10	Info3	-	CHAR	100	加盟店設定情報3	※入力パラメータで指定したクレジットカードに該当する独自BINがない場合、空のレスポンスを返却します。
11	Info4	-	CHAR	100	加盟店設定情報4	Info1=&Info2=&Info3=&Info4=&Info5= ※独自BINはショップ管理画面より設定します。設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く # ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照ください。設定可能な文字数は各項目ごとに最大100文字までとなります。
12	Info5	-	CHAR	100	加盟店設定情報5	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
13	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
14	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 - : 出力時】

※サイト ID+会員 ID 指定で呼び出した場合に、複数ある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、各項目の n 番目が対となります)

CardNo=*****1111|*****2222&Brand=VISA|VISA&DomesticFlag=1|1&IssuerCode=|&DebitPrepaidFlag=0|0&DebitPrepaidIssuerName=|&ForwardFinal=15250|15250

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

※2: カード属性情報は、弊社が保有する情報を元に出力します。